

取扱説明書

マルチドライブアシストユニット

ND-MA1

AVIC-CL901/CW901/CZ901/CE901シリーズ
AVIC-CW700 II /CZ700 II
AVIC-CL900/CW900/CZ900/CE900シリーズ
AVIC-CW700/CZ700

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

お客様へ

購入後初めて本機を使うときは、初期設定が必要です。初期設定を行ってからご使用ください。

別紙「はじめにお読みください」を先にご確認いただいたあと、本書をお読みください。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

お客様登録のお願い

商品をご購入いただいたお客様には、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」でお客様登録・商品登録をされることをお勧めしております。

ご登録情報をもとに、お客様お一人お一人に合わせたきめ細かなサポート＆サービス（専用ページなど）やお役立ち情報をご提供しております。

お手持ちのインターネット接続機器から弊社ホームページにアクセスいただき、ご登録手続きをお願いいたします。

< <https://car-users.pioneer.jp/> >

はじめに

接続

取り付け

接続・
取り付け後

ドライブ
サポート

ドライブ
レコーダー

ライブカー
セキュリティ

その他の
機能・設定

オプション
機器

オーナーズ
リンク

付録

目次

901 900 : サイバーナビ 901 および 900 シリーズ専用の機能です。

はじめに

使用上のご注意.....	4	本書の表記について.....	6
SD カードについて.....	5	各部の名称とおもな働き.....	7
● SD カードに保存されるデータおよび各 データの上限について.....	5	SD カードの入れかた・取り出しかた.....	8
通信機器を使った機能について.....	6	● SD カードの入れかた.....	8
		● SD カードの取り出しかた.....	8

接続

接続・取り付け部品を確認する.....	9	接続のしかた.....	11
● 本体関係.....	9	● 機器の接続.....	11
● フロントカメラ関係.....	9	● 電源ケーブルの接続.....	12
接続の前に知ってほしいこと.....	10	● フロアカメラユニットの接続.....	13
● 接続上のご注意.....	10		
● 接続端子の脱着のしかた.....	10		

取り付け

取り付けの前に知ってほしいこと.....	14	本体の取り付け.....	16
● 取り付けのポイント.....	14	フロントカメラの取り付け.....	17
本体の取り付け位置.....	15	● 取り付け上のご注意.....	17
● 取り付け上のご注意.....	15	● 取り付け指定位置.....	17
● 推奨取り付け例.....	15		

接続・取り付け後

接続・取り付けが終わったら.....	20	● フロントカメラの取り付け状態を設定する.....	21
● 接続状態を確認する.....	20		

ドライブサポート

実写映像を使った安全運転支援機能 (ドライブサポート).....	25	● 右折時つられ発進検知.....	28
● フロントカメラの実写映像を表示する (AR スカウタービュー).....	25	● 前方車両の発進と信号機の検知.....	28
● 前方車両検知表示(ターゲットスコープ) と推定車間距離の表示.....	27	● レーンキープサポート.....	29
● 前方車両接近警告.....	28	● 横断歩道予告検知.....	29
● 誤発進警告.....	28	● ドライブサポート機能の設定.....	30
		● 地図画面に推定車間距離を表示する.....	32
		● リアクルーズモード.....	33

ドライブレコーダー

ドライブレコーダー機能を使う	34	● ドライブレコーダー機能 /	
● 連続録画	34	アクセントインフォ機能の設定	39
● イベント録画	34	● ドライブレコーダー機能の録画画質を	
● 連続録画 / イベント録画を手動で開始する	35	設定する	41
● ドライブフォト撮影	35	● 連続録画機能の録画可能時間	41
● フォトシェアリング	35	● 動画 / 静止画の保存場所について	42
● 走行中の衝撃検知をメールで通知する		● 動画 / 静止画のファイル名について	42
(アクセントインフォ)	38	撮影した動画や静止画を再生する	43
● アクシデントインフォ受発信停止設定	39	● 撮影したファイルを消去する	45

ライブカーセキュリティ

駐車中に動作するセキュリティ機能		● ライブカーセキュリティを一時的に停止する	51
(ライブカーセキュリティ)	46	● オートセキュリティストップ [901 900]	52
● 駐車中に異常を検知した時に録画 / 撮影		● セキュリティ停止エリア設定	53
を行う (セキュリティ録画 / 撮影)	47	● セキュリティインフォ受発信停止設定	54
● 駐車中に検知した異常をメールで通知する		● オートセキュリティストップ機能の設定	
(セキュリティインフォ)	47	[901 900]	54
● ライブカーセキュリティ機能の設定	48	● オートセキュリティストップ対応	
● ライブカーセキュリティの検知感度を		機器の登録 [901 900]	55
調整する	49	● デバイス名を変更する [901 900]	57

その他の機能・設定

● 消失点学習を行う	58
● SD カード情報を確認する	59
● スマートループ アイ スポットの	
自動撮影と送信	59
● バージョンアップ	60
● 設定の初期化について	61

オーナーズリンク

オーナーズリンクの登録	65
● 本機の商品登録を行う	65
● 本機を接続するナビゲーション本体を	
設定する	66
● 通知先メールアドレスを登録する	67
● サブドライバー登録について	68

オプション機器

● フロアカメラユニット「ND-FLC1」	62
● MA ユニット用スマートキーホルダー	
「CD-SK1」 [901 900]	64
● 専用アプリ「ドライブアシスト」	64

付録

インジケータ表示とブザー音について	70
故障かな?と思ったら	71
エラーメッセージと対処方法	74
その他のメッセージ	77
保証書とアフターサービス	78
商標・著作権など	79
仕様	79

使用上のご注意

- 本機の取り付け、ご使用にあたっては、本機を接続する製品の「安全上のご注意」もお読みください。
- 本機は単品では動作しません。必ず弊社製対応ナビゲーションと接続して使用してください。対応ナビゲーションについては、販売店にご確認ください。また、ナビゲーション本体の操作については、ナビゲーション本体の取扱説明書およびユーザーズガイドを合わせてご確認ください。
- 本機は日本国内でのみご使用いただけます。
- 本機の名機能は、設定・設置状況・SDカードの状態・走行環境（天候・時間帯・路面状況など）の影響により、正しく動作しない場合があります。必ずご自分の目で周囲の状況を把握し、安全を確認しながら走行してください。
- ダッシュボード上に明るい色の物を置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込み、誤認識の原因となる場合があります。ダッシュボード上には明るい色の物を置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は全ての状況において動画および静止画の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影した動画および静止画は、本来の目的以外には使用しないでください。使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。
- 重大事故などで電源が断たれた場合、動画または静止画を撮影できません。また、SDカード内に記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- 弊社では、破損したデータや消去したデータの復旧サービスは行っておりません。
- 本機をご購入後、初めて電源を入れたときは、ナビゲーション本体がGPSの時刻を受信するまで、ドライブサポート機能、ドライブレコーダー機能、ライブカーセキュリティ機能ともに機能しません。
- 本機は、電源ON後にナビゲーション本体がGPSの時刻を受信すると、記録用の時刻が自動的に補正されます。
- 「レーンキーサポート機能」は、道路運送車両の保安基準第43条の6に規定する「車線逸脱警報装置」には該当しません。
- 本機を小さなお子様やペットを車内に残しての監視用途には絶対に使用しないでください。
- ナビゲーション接続ケーブル、電源ケーブル、または本機のフロントカメラが外れた場合は、ライブカーセキュリティ機能は動作しません。
- 悪天候時、機械式駐車場、洗車機使用時、レッカー移動時など、本機が車両に対する振動、衝撃や音を検知した場合は、ライブカーセキュリティ機能が動作します。必要以上にライブカーセキュリティ機能が動作する場合は、本機の設定により、ライブカーセキュリティ機能の設定を変更してください。
- ライブカーセキュリティ機能は車のエンジンを切った状態でも、センサーが異常を検知してセキュリティ機能が動作し始めると電力を消費します。バッテリーに配慮した設計を行っておりますが、長期間の連続使用やご使用の環境、車両の整備状況によって、バッテリーの消耗具合が異なりますのでご注意ください。
- 車両の駐車環境により、ライブカーセキュリティが必要以上に動作してしまう場合は、本機のセンサーの検知感度を調整してください。
➡「ライブカーセキュリティの検知感度を調整する」(P.49)
- オートセキュリティストップ機能は、車両周辺の電波状況によっては正しく動作しない場合があります。
- 本機の動作の有無にかかわらず発生した被害、損害に対して当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

SDカードについて

- 本機は、次のSDカードに対応しています。
 - SDHCメモリーカード：
8 GB～32 GB、Class10
 - SDXCメモリーカード：
64 GB～256 GB、Class10
 - フォーマット：Ver3.0
 - ファイルシステム：FAT32/exFATただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。データやSDカード自体が破損する恐れがあります。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの状態によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。
- パソコンの標準機能でフォーマットするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがあります。このため、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータが全て消失します。

必ずSDカードのデータのバックアップを作成してからフォーマットしてください。

- SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションの次のホームページより入手できます。
< <https://www.sdcard.org/jp/> >
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を当社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、当社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。
- 本機でSDカードを正常に動作させるために、次の事項をお守りください。
 - 本機でのみ使用するSDカードをご用意ください。
 - SDカードには、本機によって保存されるデータ以外は保存しないでください。
 - SDカード内のフォルダ構成(フォルダ名、ファイル名も含む)は一切編集しないでください。
- 本機は、ドライブレコーダー機能で録画・撮影される一部のデータを保存するために、あらかじめ一定の容量をSDカード内に確保します。そのため、コンピューターなどでSDカードの空き容量があるように見えた場合でも、容量不足で録画停止、または既存のデータが上書きされることがあります。

SDカードに保存されるデータおよび各データの上限について

機能	データ	上限
連続録画(⇒P.34)	動画	SDカードの容量および録画の画質により異なります。 ⇒「連続録画機能の録画可能時間」(P.41)
イベント録画(⇒P.34)	動画	50件(1件あたり最大30秒)
アクシデントインフォ(⇒P.38)	静止画	50件
ドライブフォト撮影(⇒P.35)	静止画	200件
セキュリティ録画/撮影(⇒P.47)	動画	20件(1件あたり20秒)
	静止画	20件

通信機器を使った機能について

本機には、ナビゲーション本体または本機に通信機器を接続して使用する機能があります。通信機器の接続は次の3通りの方法があります。

- データ通信専用通信モジュール「ND-DC2」を本機に接続する（推奨）。
- Wi-Fiテザリング対応のiPhoneまたはスマートフォンとナビゲーション本体をWi-Fi接続し、テザリングする。<901/900シリーズ>
- Bluetooth PANプロファイル対応のiPhoneまたはスマートフォンとナビゲーション本体をBluetooth PANプロファイルで接続する。

通信機器を使用する機能	データ通信専用 通信モジュール接続	Wi-Fiテザリング	Bluetooth PAN接続
アクシデントインフォ (⇒P.38)	いずれか1つの方法		
アクシデントインフォ設定 (⇒P.41)			
セキュリティインフォ (⇒P.47)	○	—	—
セキュリティインフォ設定 (⇒P.49)	いずれか1つの方法		
スマートループ アイ スポットの 自動撮影と送信 (⇒P.59)	いずれか1つの方法		

メモ

- 「アクシデントインフォ」、「セキュリティインフォ」については、バイオニアホームページ「オーナーズリンク」の「マルチドライブアシストユニット管理」から通知メールアドレスを登録する必要があります。⇒「オーナーズリンクの登録」(P.65)
- iPhoneまたはスマートフォンとナビゲーション本体のWi-Fi接続、またはBluetooth PANプロファイルでの接続方法については、ナビゲーション本体に付属の『取扱説明書』をご確認ください。

本書の表記について

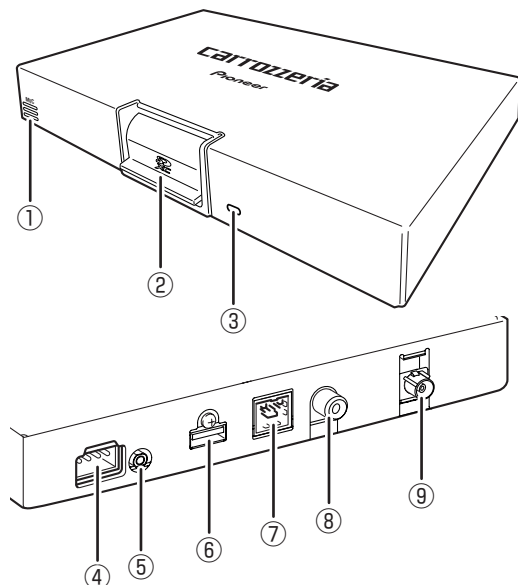
- マルチドライブアシストユニットを接続するナビゲーション本体を総称して、本書では下記のように表記しています。

ナビゲーション本体	本書での呼称	ナビゲーション本体	本書での呼称
AVIC-CL901/CL901-M	<901シリーズ>	AVIC-CL900/CL900-M	<900シリーズ>
AVIC-CW901/CW901-M		AVIC-CW900/CW900-M	
AVIC-CZ901/CZ901-M		AVIC-CZ900/CZ900-M	
AVIC-CE901シリーズ		AVIC-CE900シリーズ	
AVIC-CW700II	<700IIシリーズ>	AVIC-CW700	<700シリーズ>
AVIC-CZ700II		AVIC-CZ700	

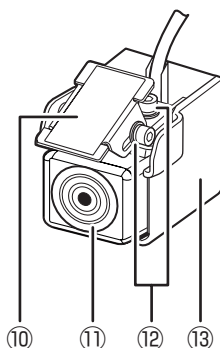
- SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを、総称して「SDカード」と表記しています。
- 「MAユニット」は、マルチドライブアシストユニット(本機)を指します。
- 「スマートフォン」は、Android™ OS搭載のスマートフォンを指します。

各部の名称とおもな働き

マルチドライブアシストユニット本体



フロントカメラ



マルチドライブアシストユニット本体

- ①マイク
車内の音を集音します。
- ②SDカードスロット
SDカードを挿入します。
- ③SDカードアクセスインジケータ
本機の状態を赤と緑の点灯/点滅で表現します。
▶「インジケータ表示とブザー音について」
(P.70)
※本文中では、「インジケータ」と記載して
います。
- ④電源接続端子
付属の電源ケーブルで、車両の+バッテリー
電源、電圧信号入力(拡張入力)、フロアカメラ
ユニットに付属の電源ケーブル、およびア
ースに接続します。
- ⑤外部マイク接続端子
別売の音響特性測定用マイク「CD-MC1」を
接続します。本体内蔵のマイクで音が拾い
にくい場合に使用します。

- ⑥USBケーブル接続端子
データ通信専用通信モジュール「ND-DC2」
を接続するために、付属のUSB延長ケー
ブルを接続します。
- ⑦ナビゲーション接続端子
付属のナビゲーション接続ケーブルでナビ
ゲーション本体に接続します。
- ⑧フロアカメラユニット接続端子
フロアカメラユニット「ND-FLC1」を接続
します。
- ⑨フロントカメラ接続端子
付属のフロントカメラを接続します。

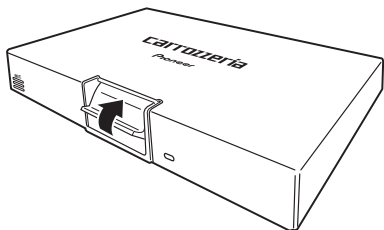
フロントカメラ

- ⑩台座面
フロントガラスに取り付けます。
- ⑪レンズ
車両前方の映像を撮影します。
- ⑫アジャスター
カメラの向きを調節します。
- ⑬カメラカバー

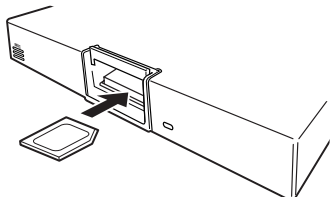
SDカードの入れかた・取り出しかた

SDカードの入れかた

- 1 SDカードスロットのカバーを開けます



- 2 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込みます



- 3 SDカードスロットのカバーを閉じます

メモ

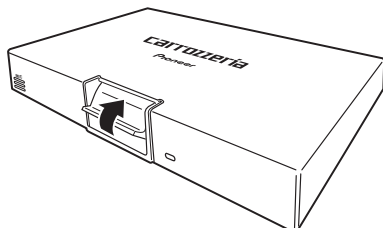
- SDカードスロットのカバーは必ず閉じてください。閉じないとデータが保存できません。

SDカードの取り出しかた

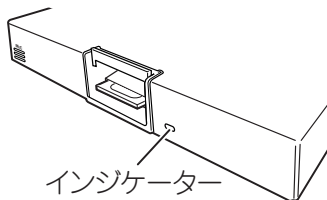
注意

- SDカードを取り出す際は、SDカードスロットのカバーを開け、インジケーターが緑点滅していることを確認してからSDカードを取り出してください。インジケーターが赤色時にSDカードを抜くと、SDカード内のデータやSDカード自体を破損することがあります。

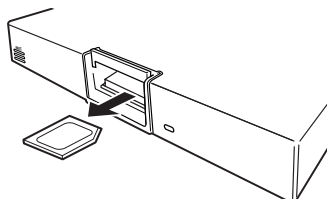
- 1 SDカードスロットのカバーを開けます



- 2 インジケーターが緑点滅していることを確認します



- 3 SDカードを“カチッ”と音がするまで押し込んでから放し、まっすぐ引き抜きます



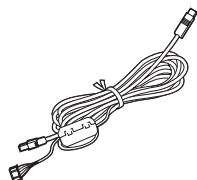
- 4 SDカードスロットのカバーを閉じます

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



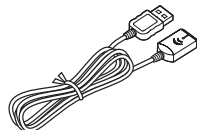
マルチドライブ
アシストユニット
本体×1



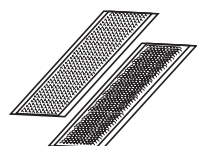
ナビゲーション接続
ケーブル×1



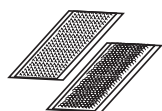
電源ケーブル×1



USB延長ケーブル×1



面ファスナー
(やわらかい方、かたい方)
×各2

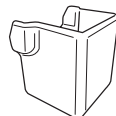


データ通信専用通信
モジュール固定用
面ファスナー
(やわらかい方、かたい方)
×各1

フロントカメラ関係



フロントカメラ×1



カメラカバー×1



金属クランパー×3



クリーナークロス×1



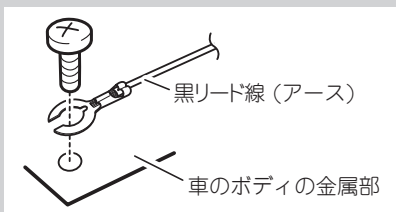
六角レンチ
(2.5 mm)×1

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

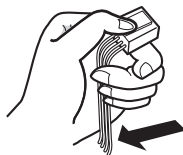
△ 注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。
- 本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。
- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。



接続端子の脱着のしかた

- 接続端子は、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、コネクターの向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 接続端子を外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。ケーブルを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。



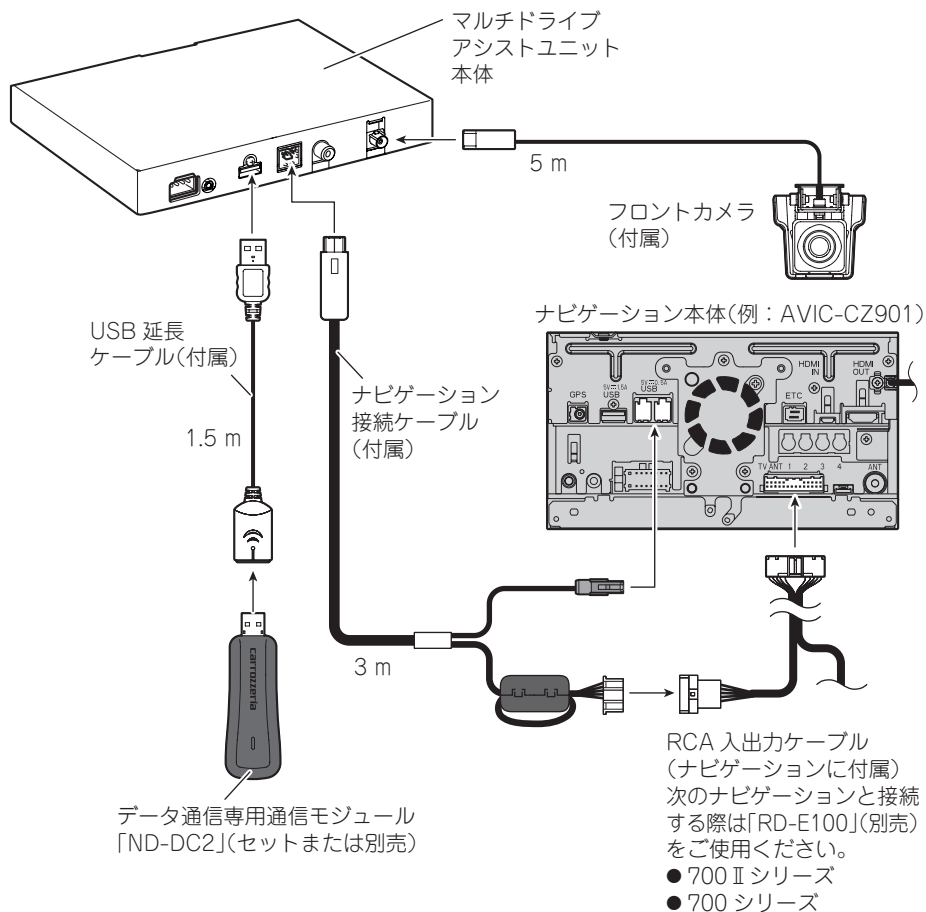
例: 電源ケーブル接続端子

接続のしかた

△ 注意

- 必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。

機器の接続

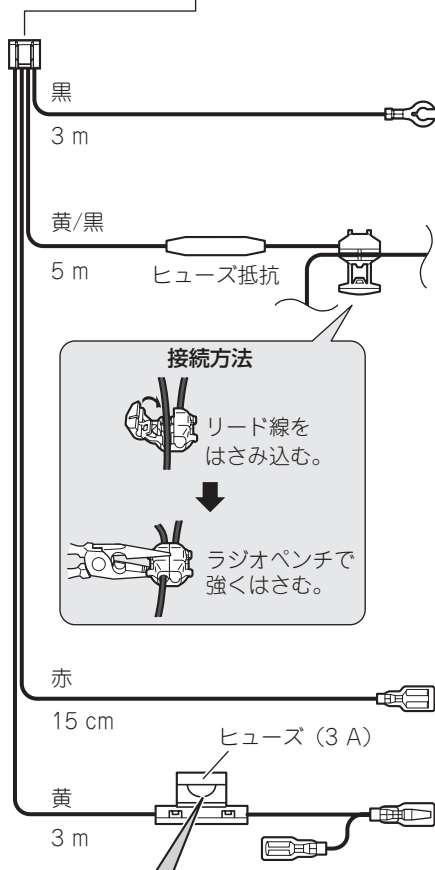
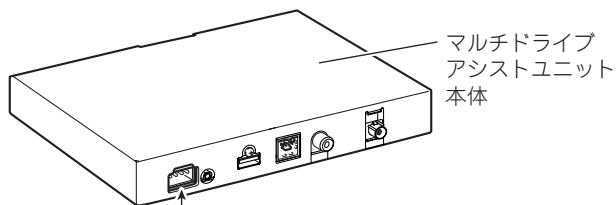


接続

メモ

- データ通信専用通信モジュール「ND-DC2」は、必ず本機に付属のUSB延長ケーブルを使用して本機に接続してください。
- 本機にデータ通信専用通信モジュール「ND-DC2」を接続することで、本機を接続したナビゲーション本体でも通信機能を使用できます。

電源ケーブルの接続



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。
ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション
本体の近くに接続してください。

電圧信号入力 (拡張入力)

エンジンを切っているときに車両の状態変化による
電圧変動を検知できる電源回路や機器に接続するこ
とができます。

※車両によっては接続先に適切な箇所が存在しない
場合があります。本線を接続しなくてもドア開閉
を衝撃センサーや音圧センサーが検知した場合に
ライブカーセキュリティ機能は動作します。

※ドアの開きを検知する電源回路に接続する場合は
ドアが開かれるまで電圧の変化が生じない信号線
に接続してください。HIGH/LOW検出切り換え
はセキュリティ検知設定から変更できます。

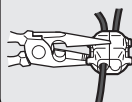
HIGH検出：5V以下の電圧から10V以上の電圧
に変化し0.5秒以上継続した場合に
HIGH検知します。

LOW検出：10V以上の電圧から5V以下の電圧
に変化し0.5秒以上継続した場合に
LOW検知します。

接続方法



リード線を
はさみ込む。



ラジオペンチで
強くはさむ。

フロアカメラ電源接続用端子

フロアカメラユニット「ND-FLC1」に付属の
電源ケーブルを接続してください。

+バッテリー電源

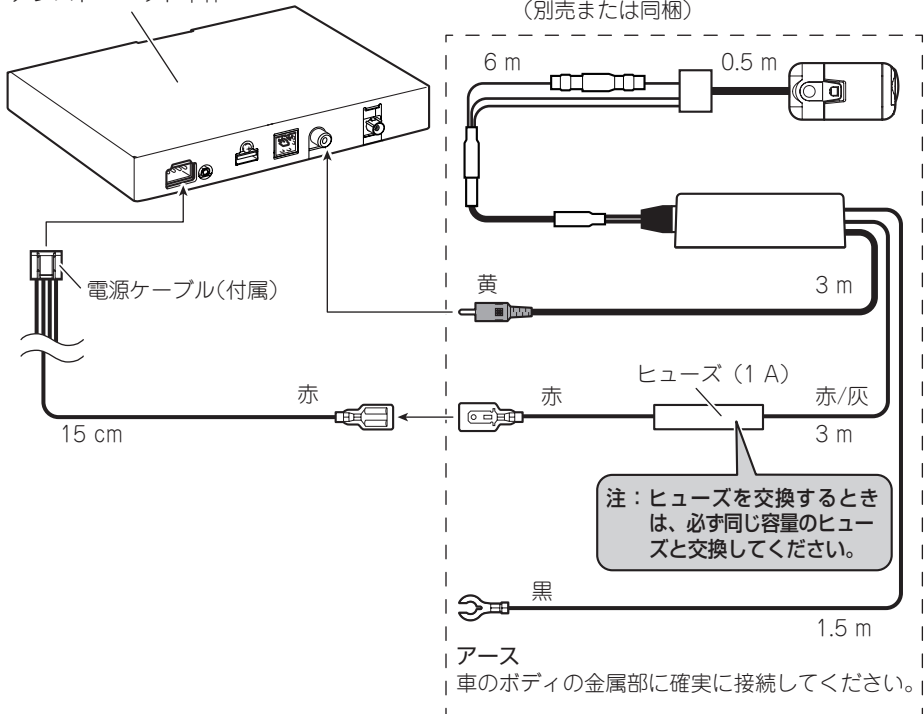
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、
常にバッテリーから電源が供給される電源回路
に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、
必ず同じ容量のヒューズと
交換してください。

フロアカメラユニットの接続

マルチドライブ
アシストユニット本体

フロアカメラユニット「ND-FLC1」
(別売または同梱)



接続

メモ

- AVIC-CE901/CE900シリーズで本機にフロアカメラユニットを接続する場合は、AVIC-CE901/CE900シリーズに付属の取付説明書をご確認ください。
- AVIC-CE901/CE900シリーズに同梱の専用フロアカメラユニットは、ケーブルの長さが一部異なります。詳しくは、フロアカメラユニットに付属の取扱説明書をご確認ください。

取り付けの前に知ってほしいこと

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

取り付けのポイント

■ 取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

■ 両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭き取ってください。

■ ノイズ防止のために

誤動作防止のため、次のものはマルチドライブアシストユニット本体やカメラユニット(フロントカメラ/フロアカメラ)、その他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置し、一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

- * 地上デジタルTVのフィルムアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコンアンテナおよびそのアンテナコード

■ はがれないようにしっかり取り付ける



取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

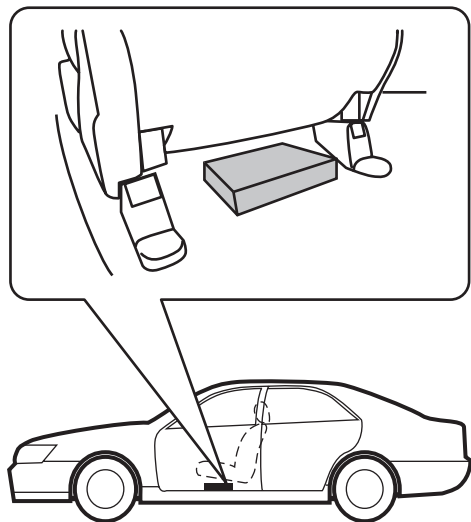
本体の取り付け位置

取り付け上のご注意

- 本体は、付属の面ファスナーを使用して、しっかりと車両に固定してください。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所
 - * ヒーターの吹き出し口の近く
- 雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- ホコリや泥などが混入しやすい場所には取り付けしないでください。
- 本体をカーペットなどで覆わないでください。
- 本体の端子やケーブルに大きなショックがかからないような場所に設置してください。本体を蹴ってしまうような場所や、積み荷によって荷重がかかってしまう場所は避けてください。

推奨取り付け例

本体の取り付け位置は、シートの下を推奨いたします。



- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、本機が外れる恐れがあります。また、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。スペアボードやハッチバックのリアトレイなど車の振動で動く位置には絶対に取り付けしないでください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となることがあります。

本体の取り付け

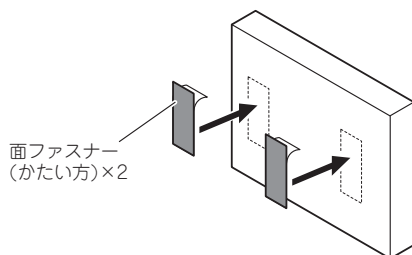
メモ

- AVIC-CE901/CE900シリーズでの本機の設置方法および設置場所は、AVIC-CE901/CE900シリーズに付属の取付説明書をご確認ください。

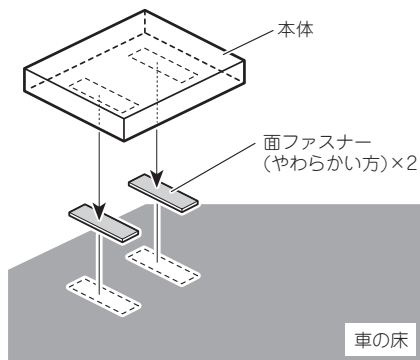
1 取り付け位置を決めます

2 取り付け位置に面ファスナー（やわらかい方）を貼り付けます

3 本体に面ファスナー（かたい方）を貼り付けます



4 面ファスナーを合わせ、固定します



5 ケーブルを固定します

「接続のしかた」に従って接続を行い、市販の樹脂クランパーなどを使い、ナビゲーション接続ケーブルを固定します。

6 データ通信専用通信モジュールを接続するUSB延長ケーブルを、付属の面ファスナーを使って固定します

データ通信専用通信モジュールを、車の金属部分からできるだけ離して設置できるように、ケーブルを固定してください。

フロントカメラの取り付け

メモ

- AVIC-CE901/CE900シリーズでの本機の設置方法および設置場所は、AVIC-CE901/CE900シリーズに付属の取付説明書をご確認ください。

取り付け上のご注意

- 保安基準^{*}に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
* 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条及び細目を定める告示第195条をいいます。
- フロントカメラは、運転者の視界を妨げない以下のいずれかの条件を満たす車両および位置に取り付けてください。
 - フロントガラスの実長の20%以内の位置（ウエザ・ストリップ、モールなどと重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲）
 - 運転席から見て、ルームミラーの陰に隠れる位置
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合は、絶対にピラーを取り外さないでください。フロントエアバッグの誤動作などの原因となり大変危険です。ピラーを取り外さずにフロントカメラを取り付ける方法については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- フロントカメラは、フロントウィンドウ取り付け専用です。フロントウィンドウ以外や車室外には取り付けしないでください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に取り付けてください。
- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- フロントカメラは、落としたり、レンズ部分には触れないよう、取り扱いには十分ご注意ください。

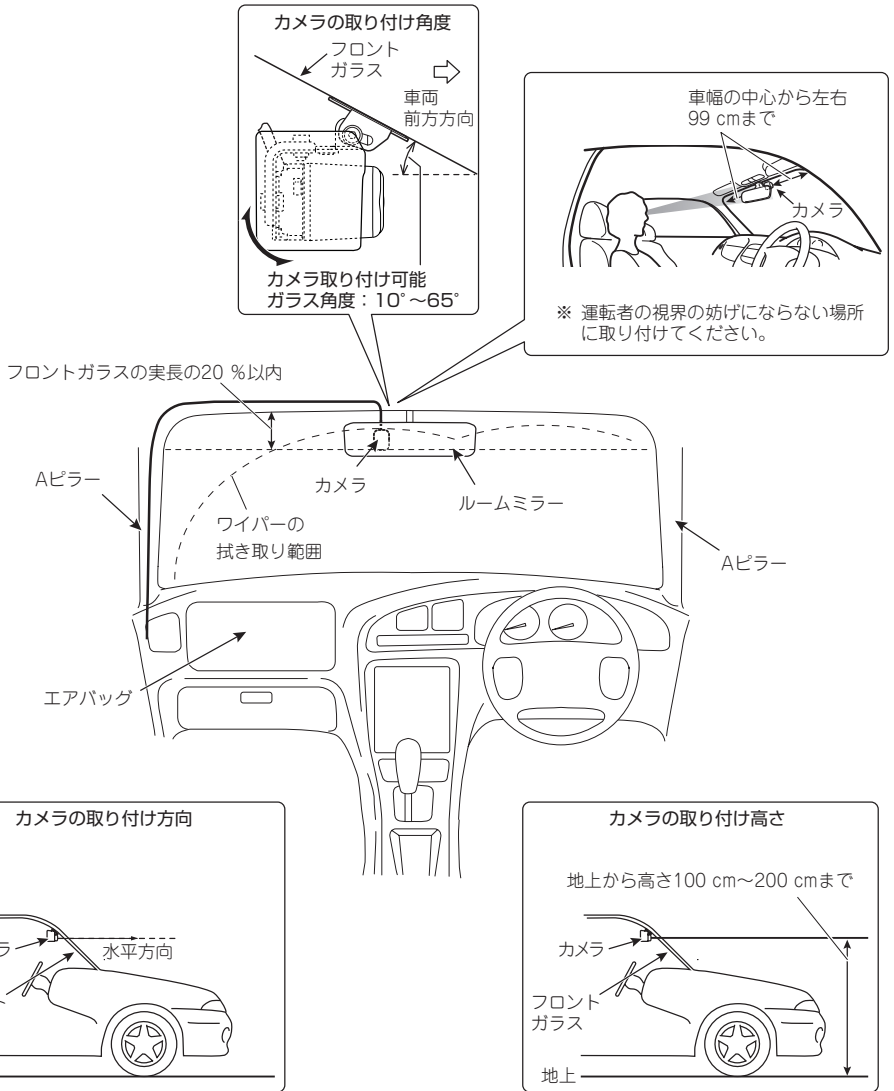
- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。
- 両面テープは、一度貼り付けると粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずフロントカメラを仮留めし、ケーブルの引き直しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

取り付け指定位置

フロントカメラは、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

- フロントガラスの角度が10°～65°の車両
- フロントカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- フロントカメラのレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置
- 車幅の中心から左右99 cmまでの位置
- フロントカメラが水平方向を向く位置
- 地面からの高さが100 cm～200 cm以内の位置
- フロントカメラのケーブルが無理なく引き回せる位置
- 取り付け後にフロントカメラの側面、上面および背面にある六角ネジが回せる位置
- 取り付け後にカメラカバーが脱着できる位置

取り付け



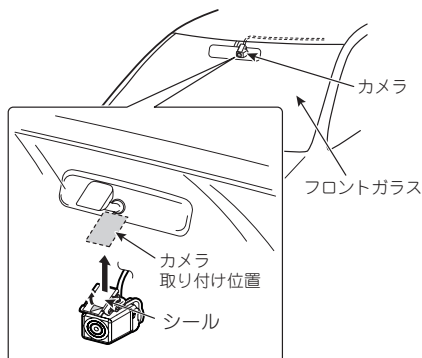
△ 必ずお守りください

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

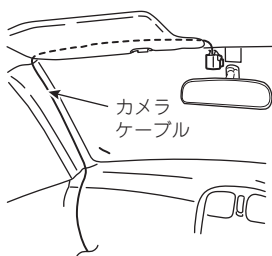
2 フロントカメラを取り付けます

フロントカメラ台座面のシールをはがして、フロントガラスの指定位置に取り付けます。

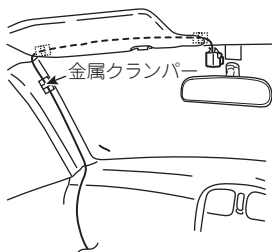


3 ケーブルを引き回します

カメラケーブルをシート下に引き回します。



4 付属の金属クランパー 3個でカメラケーブルを固定します



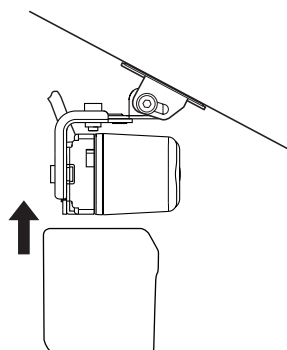
5 接続状態の確認とフロントカメラの設定を行います

➔「接続状態を確認する」(P.20)

➔「フロントカメラの取り付け状態を設定する」(P.21)

6 カメラカバーを取り付けます

六角ネジがしっかり締まっていることを確認してから、カメラカバーを下から上に向けて取り付けます。



⚠ 注意

- フロントカメラ取付調整画面は、カメラの取付角度を調整する画面であるため実際の録画画像とは異なります。
(取付確認画面：画角小 録画画像：画角大)

接続・取り付けが終わったら

△ 注意

- 必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機およびフロントカメラの接続・取り付けが終了したら、はじめに接続状態を確認してください。その後、フロントカメラの取り付け状態を設定してください。

接続状態を確認する

接続・取り付けが終わったら、車のエンジンをかけてナビゲーション本体を起動し、接続状態を確認します。

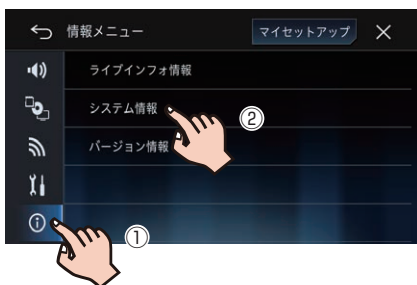
1 車のエンジンをかけます

2 田 ボタンを押し、HOME画面を表示します

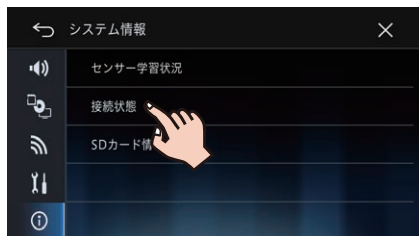
3 AV・本体設定にタッチします



4 ① → システム情報 にタッチします



5 接続状態 にタッチします



6 画面をスクロールし、「MAユニット」が「OK」になっていることを確認します



7 X にタッチします

フロントカメラの取り付け状態を設定する

△ 注意

- フロントカメラの取り付け状態の設定は、本機を正しく動作させるために必要な設定です。必ず設定してください。
- フロントカメラの位置を変更した場合は、再度取り付け状態の設定を行ってください。
- フロントカメラの取り付け状態を設定した場合は、消失点の初期化、および消失点の学習を行ってください。
➔「消失点学習を行う」(P.58)

フロントカメラの取り付け状態の設定は3項目あります。

フロントカメラ取付調整

フロントカメラの左右、水平および上下の角度を調整します。

➔「フロントカメラ取付調整」(P.22)

フロントカメラ取付高さ

地面からフロントカメラのレンズ中心までの高さを100 cmから200 cmの間で入力します。

➔「フロントカメラ取付高さ」(P.23)

フロントカメラ取付範囲

フロントカメラの取付位置が、車幅の中心から左右何cmかを測定し、数値を選択します。

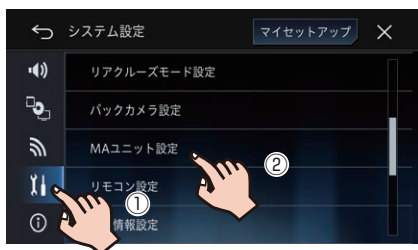
➔「フロントカメラ取付範囲」(P.24)

1 **HOME** ボタンを押し、HOME画面を表示します

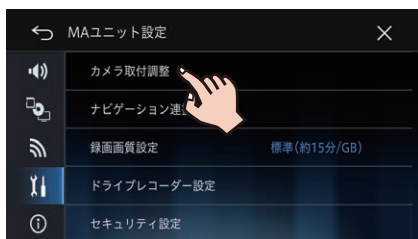
2 **AV・本体設定** にタッチします



3 **MAユニット設定** にタッチします



4 **カメラ取付調整** にタッチします

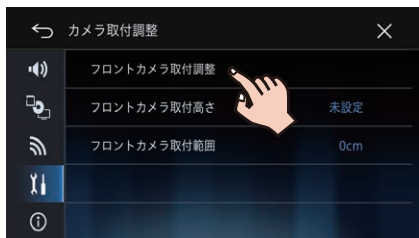


5 **フロントカメラ取付調整**、**フロントカメラ取付高さ**、**フロントカメラ取付範囲**をそれぞれ設定します

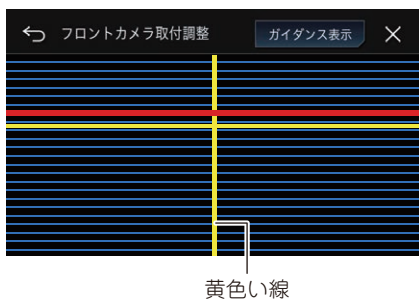
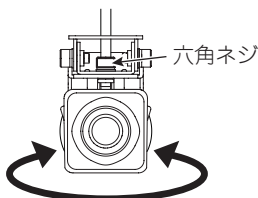
■フロントカメラ取付調整

地面と水平な場所に停車し、カメラ取付調整を行います。

1 フロントカメラ取付調整にタッチします



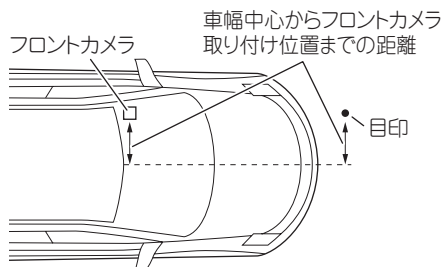
2 フロントカメラ上部の六角ネジを緩め、黄色い線が進行方向にまっすぐ合うように、フロントカメラの左右の角度を調整します



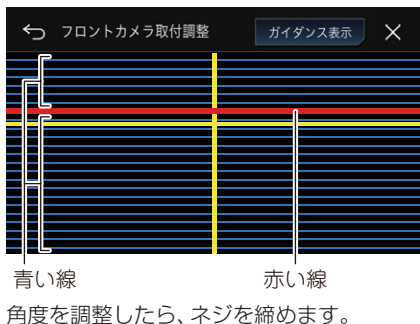
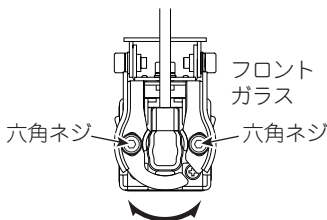
角度を調整したら、ネジを締めます。

メモ

- フロントカメラを車幅の中心から離れた場所に取り付けた場合は、はじめに車幅の中心からフロントカメラの取り付け位置までの距離を測定してください。次に、車両前方に、車幅の中心から測定した距離だけ離れた位置に目印を設置し、黄色い線が目印と一致するように調整してください。

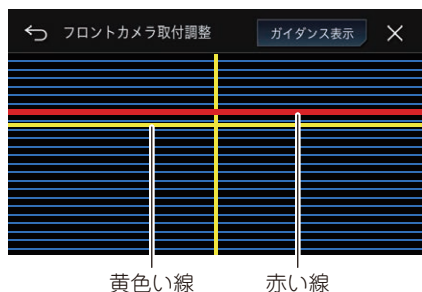
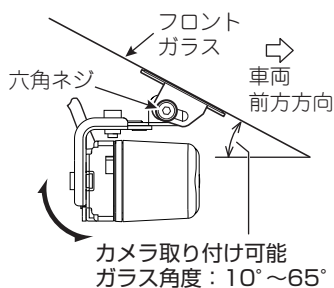


3 フロントカメラ背面の六角ネジを緩め、赤い線が青い線と平行になるように傾き角度を調整します



角度を調整したら、ネジを締めます。

- 4 フロントカメラ両側面の六角ネジを緩め、赤い線が黄色い線と重なるように上下の角度を調整します



角度を調整したら、ネジを締めます。

- 5 すべての六角ネジがしっかりと締め付けられているのを確認したら、カメラカバーを取り付けます

- 6 **←**にタッチします

カメラ取付調整画面に戻ります。引き続き、フロントカメラ取付高さを設定します。

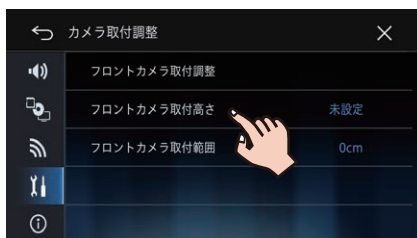
メモ

- **ガイダンス非表示**にタッチすると、操作方法の表示を消すことができます。

■ フロントカメラ取付高さ

地面からフロントカメラのレンズ中心までの高さを、100 cmから200 cmの間で入力します。

- 1 **フロントカメラ取付高さ** にタッチします



- 2 地面からフロントカメラまでの高さをを入力します



- 3 **入力終了**にタッチします

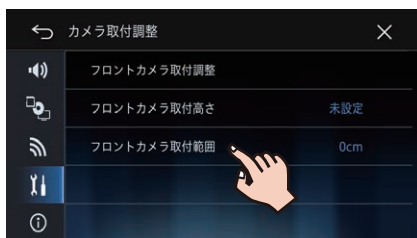
カメラ取付調整画面に戻ります。引き続き、フロントカメラ取付範囲を設定します。

接続・取り付け後

■ フロントカメラ取付範囲

フロントカメラの取付位置が、車幅の中心から左右何cmかを測定し、数値を選択します。

1 フロントカメラ取付範囲にタッチします



2 ◀または▶にタッチして、車両幅の中央からフロントカメラまでの距離を設定します



3 ◀にタッチします

カメラ取付調整画面に戻ります。以上で、フロントカメラの取り付け状態の設定は終了です。

△ 注意

- フロントカメラの取り付け状態の設定が終了したら、消失点の初期化および消失点の学習を行ってください。
→「消失点学習を行う」(P.58)
- 本設定を行わないと、本機が正しく動作しない場合があります。

実写映像を使った安全運転支援機能(ドライブサポート)

走行中にフロントカメラで撮影した映像を解析し、安全運転を支援するためのさまざまな機能を使うことができます。

実写映像上に運転状況を示す表示や警告メッセージを表示したり、効果音で注意を促したりすることができます。

メモ

● ドライブサポート機能のうち、「推定車間距離の表示 (➡P.27)」、「前方車両接近警告 (➡P.28)」、「誤発進警告 (➡P.28)」は、次の設定のどちらか一方が入力されていると動作します。

- ・「カメラ取付調整」の「フロントカメラ取付高さ」
- ・「車両情報設定」の「駐車制限(車両寸法)」 - 「車両寸法：高さ(H)」

どちらの設定も入力していない、または「車両寸法：高さ(H)」のみを入力している場合は、「フロントカメラ取付高さ」を入力することを推奨します。

➡「フロントカメラの取り付け状態を設定する」(P.21)

フロントカメラの実写映像を表示する(ARスカウタービュー)

本機で撮影しているフロントカメラの映像をナビゲーション本体の画面に表示させ、実写映像での案内を行います。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 画面を左にフリックして、NAVIメニュー画面を表示します



3 ビューにタッチします



4 ARスカウタービューにタッチします



地図画面がARスカウタービューで表示されます。

■ 交差点案内表示(ルート案内中)

「ナビ機能設定」の「交差点案内表示」を「ARスカウタービュー」に設定すると、ルート案内中に交差点案内地に近づいた際に、ARスカウタービューで交差点案内を行うことができます。



案内地情報

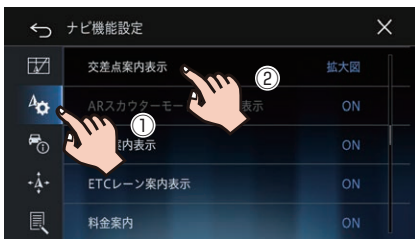
ARスカウタービューでは、実写映像上にルートでの道塗り、案内地情報(案内方向、案内地までの距離スケール、案内地の旗)が表示されます。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

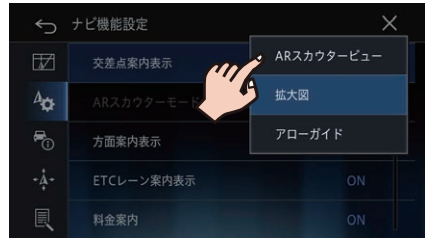
2 ナビ設定にタッチします



3 **⚙️** → 交差点案内表示にタッチします



4 **ARスカウタービュー**にタッチします



5 **×**にタッチします

■ 交差点案内時のイラスト表示

「ナビ機能設定」の「交差点案内表示」を「ARスカウタービュー」に設定すると、ルート案内中に交差点案内地に近づいた際に交差点のイラストを表示する/しないを設定できます。

例：立体交差点案内時に表示されるイラスト



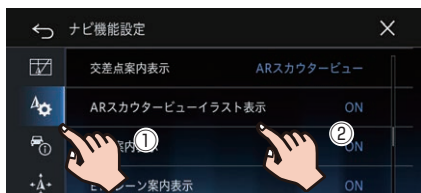
工場出荷時の設定は「ON」です。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ナビ設定**にタッチします



3 **ARスカウタービューイラスト表示**にタッチします



ON

交差点案内地に近づいた際に、交差点のイラストを表示します。

OFF

交差点のイラストを表示せず、ARスカウタービューで交差点を案内します。

4 設定が終了したら、にタッチします

■ 高速道路上でARスカウタービューを表示するには

工場出荷時は、機能設定メニューの「オートハイウェイモード」がONになっているため、高速道路を走行すると、ARスカウタービューは解除され、ハイウェイモードに切り換わります。高速道路を走行してもARスカウタービューで表示したい場合は、「オートハイウェイモード」をOFFに設定してください。

なお、一時的にハイウェイモードからARスカウタービューに切り換えるには、「フロントカメラの実写映像を表示する (ARスカウタービュー)」(⇒P.25)に記載された操作を行ってください。

前方車両検知表示(ターゲットスコープ)と推定車間距離の表示

本機が前方車両を検知すると、ナビゲーション画面上にターゲットスコープ(前方車両検知表示)と推定車間距離を表示します。

ターゲットスコープは、前方車両との推定車間距離と車間時間に応じて色や形状が変化します。

通常走行時は、ターゲットスコープと推定車間距離は青色で表示されます。



前方車両までの車間時間が短い場合は、ターゲットスコープと推定車間距離が黄色で表示されます。



◆ メモ

- ターゲットスコープの表示方法を切り換えることができます。
⇒「ドライブサポート機能の設定」(P.30)
▶「ターゲットスコープ」
- 推定車間距離の表示/非表示を切り換えることができます。
⇒「地図画面に推定車間距離を表示する」(P.32)
- 推定車間距離は、30 km/hを超えた時点で表示を開始し、10 km/hを下回った時点で表示を消去します。
- ARスカウタービュー表示中にカメラ映像部分にタッチすると、前方車両の検知をやり直します。
- 推定車間距離は、ARスカウタービュー以外のビューモードを選択していても表示できます。

前方車両接近警告

前方車両との車間時間が短くなると、「前方注意」の表示と共に警告音が鳴ります。

前方注意表示



メモ

- 前方車両接近警告の表示方法を切り換えることができます。
 ▶「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
 「前方車両接近警告」
- 本機能は30 km/h以上から法定速度の範囲内で、本機がリスクと判断した場合に動作します。

誤発進警告

停車中に前方車両より先に発進すると、追突事故を防ぐために表示と音で警告します。



メモ

- 誤発進警告の表示方法、および警告のタイミングを切り換えることができます
 ▶「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
 「誤発進警告」、「誤発進警告通知タイミング」
- 次の車両の場合は、誤発進警告機能は使用できません。
 - ・ 停車時に車速パルスが発生する車両
 - ・ 低速走行時に車速パルスが発生しない車両

右折時つられ発進検知

ナビゲーション本体の地図データには、急ブレーキが多い地点(ヒヤリハット地点)が収録されています。このヒヤリハット地点のうち、右折時に注意が必要な交差点では、右折するために停車した際、前方車両の発進に合わせて自車がつられて発進すると、周囲の安全確認を促すよう音で注意喚起します。

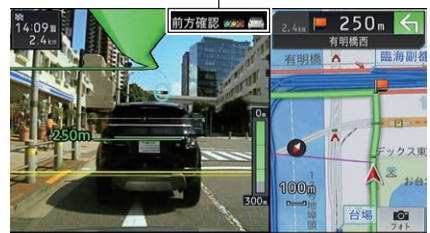
メモ

- 機能のON/OFFを切り換えることができます。
 ▶「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
 「右折時つられ発進検知」

前方車両の発進と信号機の検知

停車中に前方車両の発進および信号機を検知すると、実写映像上とメッセージプレートに下記のマークやアイコンが表示されます。また、効果音での通知も行います。

メッセージプレート



	実写映像上	メッセージプレート
赤信号機候補検知時	□ (赤色)	
赤信号→青信号検知時	○ (青色)	前方確認
前方車発進検知時	黄色の水平線	

メモ

- 機能のON/OFF、および前方車両発進の通知のタイミングを切り換えることができます。
 ▶「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
 「前方車発進/信号検知」、「前方車発進通知タイミング」

- 信号機の検知は一般道でのみ動作します。なお、矢印信号には対応していません。
- 前方車両の発進を検知し、前方車両発進の通知タイミングを経過した場合も、メッセージプレートに**前方確認**が表示されます。
- メッセージプレートは、走行開始するか、またはメッセージプレートにタッチすると消去されます。

レーンキープサポート

走行中に車線を認識すると、青色で表示されます。



車線(青)

片寄り走行を検知すると車線が黄色で表示されます。



片寄り走行検知(黄)

メモ

- 機能のON/OFFを切り換えることができます。
➔「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
「レーンサポート(一般道)」 「レーンサポート(高速道)」
- 一般道で細街路を走行した場合は、本機能は動作しません。
- 一定時間片寄り走行を検知すると、効果音が鳴るように設定することもできます。

横断歩道予告検知

横断歩道または自転車横断帯ありの道路標識を検知すると、横断歩道予告検知表示および横断歩道標識アイコンを実写映像上に表示して、注意を促します。

横断歩道標識アイコン



横断歩道予告検知表示

メモ

- 機能のON/OFFを切り換えることができます。
➔「ドライブサポート機能の設定」(P.30) ▶
「横断歩道予告検知」

ドライブサポート機能の設定

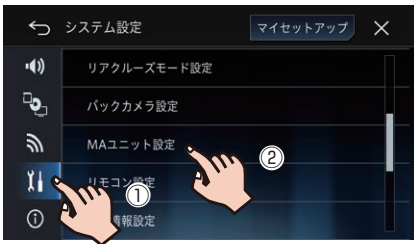
各機能のON/OFFや、通知・警告時に音を鳴らす・鳴らさないなどを設定できます。

1 田 ボタンを押し、HOME画面を表示します

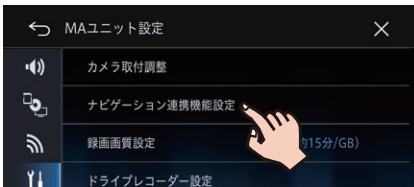
2 AV・本体設定にタッチします



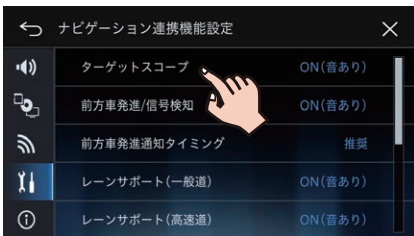
3 MAユニット設定にタッチします



4 ナビゲーション連携機能設定にタッチします



5 設定したい項目にタッチします



設定項目の詳細は「ドライブサポート機能の設定項目」をご確認ください。

6 設定が終了したら、Xにタッチします

ドライブサポート機能の設定項目

___は工場出荷時の設定値です。

ターゲットスコープ

前方車両を検知して、ターゲットスコープを表示する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
前方車両を検知した際、ターゲットスコープを表示し、効果音が鳴ります。
- **ON(音なし)**
前方車両を検知した際、ターゲットスコープを表示します。効果音は鳴りません。
- **OFF**
ターゲットスコープを表示しません。

メモ

- 「ON(音あり)」に設定しても、AVソース画面表示中は効果音は鳴りません。

前方車発進/信号検知

停車中に前方車両を検知して、状況の変化をマークと効果音で通知する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
前方車両の発進を検知し、マークと効果音で通知します。また、前方車両の走行軌跡を表示します。
信号を検知した場合は、青信号に変わるとメッセージプレートにアイコンが表示されます。
- **ON(音なし)**
前方車両の発進を検知し、マークで通知します。また、前方車両の発進軌跡を表示します。効果音は鳴りません。
信号を検知した場合は、青信号に変わるとメッセージプレートにアイコンが表示されます。
- **OFF**
前方車両の発進を通知しません。信号も検知しません。

前方車発進通知タイミング

前方車発進/信号検知を「ON (音あり)」,または「ON (音なし)」に設定した場合に、マークと効果音で通知するタイミングを設定します。

- **早め**
推奨より早めのタイミングで通知します。
- **推奨**
推奨のタイミングで通知します。
- **遅め**
推奨より遅めのタイミングで通知します。

レーンサポート(一般道)

一般道で片寄り走行を検知する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
片寄り走行を検知します。また、一定時間の片寄り走行を検知した際に効果音が鳴ります。
- **ON(音なし)**
片寄り走行を検知します。効果音は鳴りません。
- **OFF**
片寄り走行を検知しません。

レーンサポート(高速道)

高速道路 (ハイウェイモード対象路線) で片寄り走行を検知する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
片寄り走行を検知します。また、一定時間の片寄り走行を検知した際に効果音が鳴ります。
- **ON(音なし)**
片寄り走行を検知します。効果音は鳴りません。
- **OFF**
片寄り走行を検知しません。

横断歩道予告検知

横断歩道または自転車横断帯ありの道路標識を検知する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
横断歩道または自転車横断帯ありの道路標識を検知します。標識を検知した際に横断歩道標識アイコンが表示され、効果音が鳴ります。
- **ON(音なし)**
横断歩道または自転車横断帯ありの道路標識を検知します。標識を検知した際に横断歩道標識アイコンが表示されます。効果音は鳴りません。
- **OFF**
横断歩道または自転車横断帯ありの道路標識を検知しません。

前方車両接近警告

前方車両との車間時間が短い場合に、警告する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
画面の表示と警告音で警告します。
- **ON(音なし)**
画面の表示で警告します。警告音は鳴りません。
- **OFF**
警告しません。

誤発進警告

前方車両が停車中にもかかわらず、自車が先に発進したことを検知した際、誤発進として警告する・しないを設定します。

- **ON(音あり)**
画面の表示と警告音で警告します。
- **ON(音なし)**
画面の表示で警告します。警告音は鳴りません。
- **OFF**
警告しません。

誤発進警告通知タイミング

誤発進警告を「ON (音あり)」または「ON (音なし)」に設定した場合に、警告するタイミングを設定します。

- **早め**
推奨よりも早めのタイミングで警告します。
- **推奨**
推奨のタイミングで警告します。
- **遅め**
推奨よりも遅めのタイミングで警告します。

右折時つられ発進検知

ナビゲーション本体の地図データに収録されたヒヤリハット地点のうち、右折時に注意が必要な交差点で右折するために停車した際、前方車両の発進に合わせて自車がつられて発進したときに、安全確認を促すよう効果音が鳴る・鳴らないを設定します。

- **ON**
効果音が鳴ります。
- **OFF**
効果音は鳴りません。

地図画面に推定車間距離を表示する

工場出荷時は (表示) です。

メモ

- 推定車間距離は「ターゲットスコープ」設定が「ON (音あり)」または「ON (音なし)」に設定されている場合のみ表示されます。
➡「ターゲットスコープ」(P.30)

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 HOME画面を左にフリックして、NAVIメニューを表示します



3 **マルチレイヤマップ** にタッチします



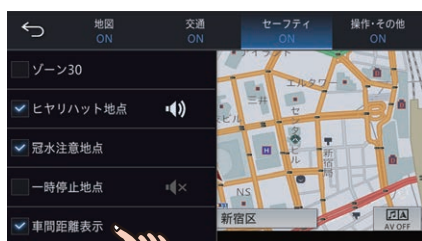
4  にタッチします



5 セーフティにタッチします



6 車間距離表示にタッチします



タッチするたびに (表示)、 (非表示) が切り換わります。

リアクルーズモード

本機を接続することでナビゲーション本体の「リアクルーズモード」内に「クルージング」が表示されます。



「クルージング」選択時はリアモニターにフロントカメラで取り込んだ前方映像と下記のAR表示が出力されます。

- ターゲットスコープ
- レーンキープサポート
- 前方車両発進検知表示
- 信号検知表示
- 横断歩道予告検知表示
(横断歩道標識アイコンは非表示)

ドライブレコーダー機能を使う

本機に接続したカメラで、走行中の様子を動画や静止画で撮影します。また、内蔵マイクで音声も収録します。

メモ

- ドライブレコーダー機能を使用するために、あらかじめ本機に市販のSDカードを入れてください。
- 本機のソフトウェアをバージョンアップ中は、ドライブレコーダー機能は動作しません。
- 本機に別売の音響特性測定用マイク「CD-MC1」を接続した場合は、音響特性測定用マイクで音声を収録します。



連続録画

本機に接続したカメラと内蔵マイクで、ドライブの様子を録画できます。

本機が起動すると自動的に撮影を始め、車のエンジンを切るまで録画し続けます。

録画された動画は、5分ごとに1つのファイルとしてSDカードに保存されます。

メモ



- 動画には日時情報、位置情報、車速、方位が記録されます。
- 連続録画を自動的に開始せず、手動で開始/停止するよう設定できます。
➔「連続録画設定」(P.40) ▶「連続録画開始設定」
- 連続録画中は、地図画面のステータスバーに下記のアイコンが表示されます。
 (連続録画開始設定が「オート」)
 (連続録画開始設定が「マニュアル」)
- SDカードの容量が不足した際に、古いデータから順に上書きするか、録画を停止するか設定できます。➔「連続録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」

イベント録画

本機の衝撃センサーが衝撃を検知すると、衝撃を検知する20秒前から、検知した10秒後までの30秒間の動画を自動で録画します。

メモ

- イベント録画中に車のエンジンを切ると、イベント録画は停止します。
- イベント録画で撮影した動画データは、最大50件までSDカードに保存されます。

- 動画の件数が50件に達した際に、古いデータから順に上書きするか、録画を停止するか設定できます。
➔「イベント録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」
- SDカードスロットのカバーが開いている場合など、イベント録画で撮影された動画データがSDカードに保存できない場合は、本機の内蔵メモリーに最大10件まで保存されます。
- 内蔵メモリーにデータが保存されている場合は、本機に空のSDカードを挿入してSDカードスロットのカバーを閉じると、自動的にSDカードに動画データが転送されます。
- 本機の内蔵メモリーにすでにデータが10件保存されている場合は、最も古いデータから順に上書き保存されます。
- 本機の内蔵メモリーに動画データがある場合は、地図画面のステータスバーに が表示されます。
- 本機の起動直後やイベント録画の設定を変更した直後は、衝撃検知前の録画秒数が20秒よりも短くなる場合があります。
- イベント録画の自動録画のON/OFFを設定できます。
➔「イベント録画設定」(P.40) ▶「自動録画設定」
- 衝撃センサーが衝撃を検知する感度を変更できます。
➔「イベント録画設定」(P.40) ▶「感度設定」

連続録画/イベント録画を手動で開始する

ナビゲーション本体の[]ボタン、またはナビゲーション本体に付属のスマートコマンダー（専用リモコン）のカスタムダイレクト1、2ボタンに、「連続録画開始/停止」または「イベント録画開始」機能を割り当てることができます。

機能を割り当てたボタンを押すと、連続録画を開始/停止、またはイベント録画を手動で開始できます。

メモ

- ナビゲーション本体、またはスマートコマンダー（専用リモコン）のボタンの機能の割り当てかたについては、ナビゲーション本体の『ユーザーズガイド』をご確認ください。

ドライブフォト撮影

車両前方の風景や気になるポイントの静止画をフロントカメラで撮影し、SDカードに保存できます。

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **フォト** にタッチします



車両前方の様子が撮影されます。

メモ

- ドライブフォト撮影で撮影した静止画は、最大200件までSDカードに保存されます。200件を超えた場合は、最も古い静止画から順に上書き保存されます。

フォトシェアリング

専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォンに、ドライブフォト撮影の静止画を転送できます。

メモ

- 専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォンとナビゲーション本体を、あらかじめBluetooth接続する必要があります。➡「フォトシェアリングの転送設定を行う」(P.36)
- 専用アプリ「ドライブアシスト」については「専用アプリ「ドライブアシスト」」(➡P.64)をご確認ください。
- iPhoneをお使いの場合は、静止画を転送する前に専用アプリ「ドライブアシスト」を起動してください。
- 静止画を転送したいiPhoneがナビゲーション本体とUSBケーブルで接続されていると、静止画を転送できません。あらかじめiPhoneをUSBケーブルから取り外してください。

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **フォト** に長くタッチします



静止画がiPhoneまたはスマートフォンに転送されます。

メモ

- 最新の静止画10件が転送されます。転送先の端末に同一名称の画像データがある場合は、その画像は転送されません。
- 転送中に**フォト** にタッチした場合、転送停止の確認メッセージが表示されます。

■「フォト」キーの表示を設定する

現在地図面に**フォト**キーを表示する・しないを設定します。

工場出荷時は**■**(非表示)です。

1 **■**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 HOME画面を左にフリックして、NAVIメニュー画面を表示します



3 **マルチレイヤマップ**にタッチします



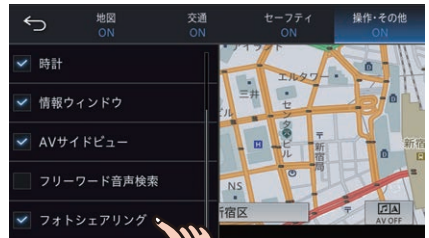
4 **■**にタッチします



5 **操作・その他**にタッチします



6 **フォトシェアリング**にタッチします



タッチするたびに表示(☑)、非表示(■)が切り替わります。

■ フォトシェアリングの転送設定を行う

フォトシェアリングで静止画を転送するために、専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォンをナビゲーション本体とBluetooth接続します。

メモ

- 専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォンをナビゲーション本体とはじめて接続する場合は、最初にiPhoneまたはスマートフォンをナビゲーション本体に機器登録する必要があります。機器登録の方法については、ナビゲーション本体に同梱の『取扱説明書』をご確認ください。

1 登録したい携帯電話のBluetooth機能をONにします

2 田 ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetooth設定にタッチします



5 機器登録/消去にタッチします



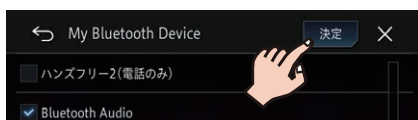
6 切り換えるBluetooth機器のプロファイルにタッチします



7 ドライブアシストアプリにタッチしてチェックをつけます

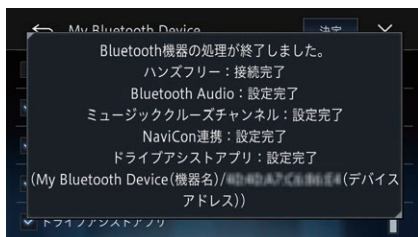


8 決定にタッチします



Bluetooth接続を行います。

接続が完了するとメッセージが表示されます。



メッセージが閉じると次の画面が表示されます。



プロフィールに [Drive Photo] が表示されれば、Bluetooth接続は完了です。

走行中の衝撃検知をメールで通知する(アクシデントインフォ)

本機の衝撃センサーが衝撃を検知すると、イベント録画と同時に静止画を撮影します。その後の走行状態を監視し、リスクが生じた可能性が高いと判断された場合は、あらかじめ登録されたメールアドレスに通知メール(アクシデントインフォ通知)が送信されます。



(画面はイメージです。お使いの端末により表示が異なります。)

メモ

- 通信機器の電波が届きにくい場所では、アクシデントインフォ通知が送信されないことがあります。
- サーバーメンテナンス時などサーバーにアクセスできない場合は、一時的にアクシデントインフォ通知が送信されないことがあります。
- アクシデントインフォで撮影される静止画は、最大50件までSDカードに保存されます。50件を超えた場合は、最も古い静止画から順に上書き保存されます。

- アクシデントインフォで送信できる画像数は、セキュリティインフォ(➡P.47)による画像送信と合わせて一か月あたり100枚です。100枚を超えた場合は、文字情報のみ送信されます。
- 画像の配信状況は、専用アプリ「ドライブアシスト」で確認できます。
➡「専用アプリ「ドライブアシスト」」(P.64)
- 送信される画像数は、毎月1日午前0時から当月最終日23時59分でカウントされます。
- アクシデントインフォ通知には、通知日時、静止画、自転車位置情報が記載されます。
- アクシデントインフォの検知感度は、イベント録画設定の感度設定と共通です。
➡「イベント録画設定」(P.40) ▶「感度設定」

■ アクシデントインフォを送信するための準備

アクシデントインフォを送信するためには、下記の準備が必要です。

- 通信機能を有効にする。
➡「通信機器を使った機能について」(P.6)
- 「アクシデントインフォ設定」を「ON」に設定する。➡「アクシデントインフォ設定」(P.41)
- パイオニアホームページ「オーナーズリンク」で、本機の商品登録およびアクシデントインフォ通知の送信先メールアドレスを登録する。
➡「オーナーズリンクの登録」(P.65)

■ アクシデントインフォ動作時について

1 走行中に本機の衝撃センサーが衝撃を検知します

検知後に走行状態を判断し、リスクが生じた可能性が高いと判断されると、メッセージが表示されます。



メッセージ表示後30秒間操作しなかった場合は、アクシデントインフォ通知が自動的に送信されます。

アクシデントインフォ通知を送信する必要がない場合は、**中止**にタッチしてください。

アクシデントインフォ一時受信停止設定

専用アプリ「ドライブアシスト」を操作して、アクシデントインフォを一時的に停止することができます。

メモ

- 専用アプリ「ドライブアシスト」については「専用アプリ「ドライブアシスト」」(⇒P.64)をご確認ください。

ドライブレコーダー機能/ アクシデントインフォ機能の設定

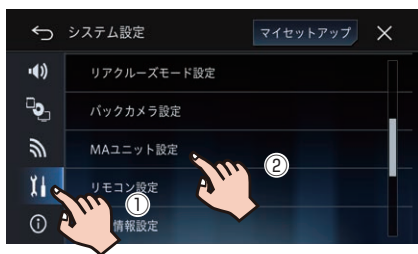
ドライブレコーダー機能のON/OFFや録画を開始するタイミングを設定したり、アクシデントインフォ機能のON/OFFを設定したりできます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

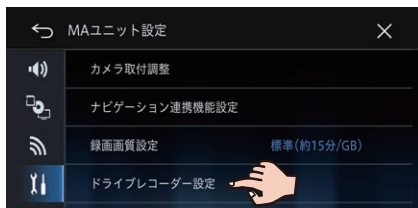
2 AV・本体設定にタッチします



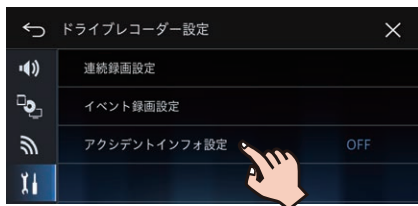
3 MAユニット設定にタッチします



4 ドライブレコーダー設定にタッチします



5 設定したい項目にタッチします



設定項目の詳細は「ドライブレコーダー機能/アクシデントインフォ機能の設定項目一覧」(⇒P.40)をご確認ください。

6 設定が終了したら、Xにタッチします

■ ドライブレコーダー機能/アクセシビリティ機能の設定項目一覧

___は工場出荷時の設定値です。

[連続録画設定]

SDカード上書き設定

本機に挿入したSDカードの連続録画用の空き領域が不足した場合の、連続録画に関する動作の設定を行います。

- **上書き**
古い録画ファイルから順に上書きして、連続録画を継続します。
- **録画停止**
連続録画を停止します。

連続録画開始設定

連続録画を開始するタイミングを設定します。

- **オート**
ナビゲーション本体の起動時に自動的に連続録画を開始します。また、ナビゲーション本体の起動時に本機にSDカードが挿入されていない場合は、SDカードを挿入すると自動的に録画を開始します。
- **マニュアル**
ナビゲーション本体の \square ボタン、もしくはスマートコマンダー（専用リモコン）のカスタムダイレクト1、2ボタンを押して、連続録画を開始します。
➔「連続録画/イベント録画を手動で開始する」(P.35)

[イベント録画設定]

自動録画設定

本機が衝撃を検知した際、自動的にイベント録画を開始する・しないを設定します。

- **ON**
自動的にイベント録画を開始します。
- **OFF**
自動的にイベント録画を行いません。イベント録画を行う場合は、次のボタンに「イベント録画開始」機能を割り当てて、ボタンを押してください。
 - ナビゲーション本体の \square ボタン
 - ナビゲーション本体に付属のスマートコマンダー（専用リモコン）のカスタムダイレクト1、2ボタン

感度設定

イベント録画、アクセシビリティ機能の衝撃検知の感度を変更できます。

- **低感度**
より低感度で衝撃を検知します。
- **やや低感度**
標準よりも低感度で衝撃を検知します。
- **標準**
標準感度で衝撃を検知します。
- **やや高感度**
標準よりも高感度で衝撃を検知します。
- **高感度**
より高感度で衝撃を検知します。

SDカード上書き設定

本機に挿入したSDカードに保存されたイベント録画ファイルが50件を超えた場合の、イベント録画に関する動作の設定を行います。

- **上書き**
古い録画ファイルから順に上書きして、イベント録画を継続します。
- **録画停止**
イベント録画を停止します。

[アクシデントインフォ設定]

アクシデントインフォ設定

アクシデントインフォのON/OFFを設定します。

- **ON**
アクシデントインフォをメールで通知します。
- **OFF**
アクシデントインフォを通知しません。

メモ

- 設定を変更するには、本機またはナビゲーション本体の通信機能を有効にする必要があります。
→「通信機器を使った機能について」(P.6)

ドライブレコーダー機能の録画画質を設定する

ドライブレコーダー機能で撮影される動画の画質を設定します。

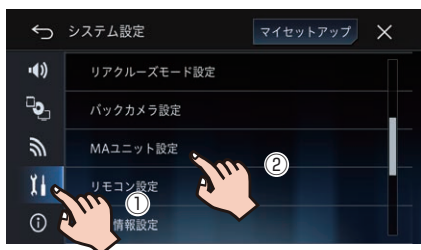
工場出荷時の設定は「標準」です。

- 1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

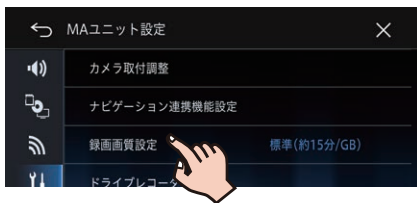
- 2 **AV・本体設定** にタッチします



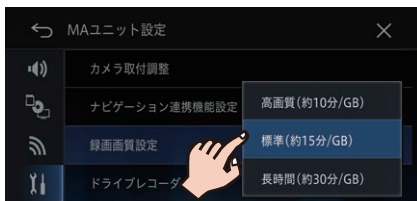
- 3 **MAユニット設定** にタッチします



- 4 **録画画質設定** にタッチします



- 5 **お好みの設定** にタッチします



高画質(約10分/GB)

高画質モードで録画します。

標準(約15分/GB)

標準モードで録画します。

長時間(約30分/GB)

長時間モードで録画します。

- 6 設定が終了したら、**X** にタッチします

連続録画機能の録画可能時間

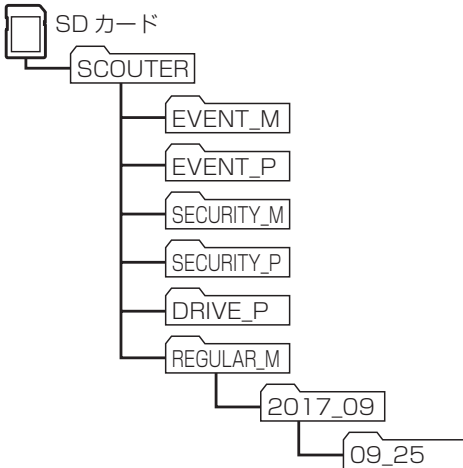
連続録画機能による録画可能な時間の目安は、次のとおりです。

	高画質	標準	長時間
8 GB	0.5時間	0.8時間	1.6時間
32 GB	4.4時間	6.5時間	13時間
64 GB	9.5時間	14.2時間	28.1時間
256 GB	40.4時間	60.3時間	118.9時間

動画/静止画の保存場所について

ドライブレコーダー機能で撮影された動画や静止画は、SDカードにファイルとして保存されます。SDカード内には、撮影された機能ごとに自動的にフォルダが生成されます。

生成されるフォルダは次のとおりです。
(例：2017年9月25日に動画を撮影した場合)



- **EVENT_M**
イベント録画で撮影された動画が保存されます。
- **EVENT_P**
走行中の衝撃検知時に撮影された静止画が保存されます。
- **SECURITY_M**
ライブカーセキュリティ機能で撮影された動画が保存されます。
- **SECURITY_P**
ライブカーセキュリティ機能で撮影された静止画が保存されます。
- **DRIVE_P**
ドライブフォト撮影で撮影された静止画が保存されます。
- **REGULAR_M**
連続録画で撮影された動画が保存されます。

「REGULAR_M」フォルダ内には、さらに「西暦_月」と「月_日」が自動で生成され、動画ファイルが保存されます。

動画/静止画のファイル名について

ドライブレコーダー機能で撮影された動画や静止画のファイル名は、次のとおりに自動で付与されます。
(例：2017年9月25日10時10分10秒に、連続録画で撮影された動画)

2017_0925_1010_10_00_RM.avi

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ① 撮影された年(西暦)
- ② 撮影された月日
- ③ 撮影された時間(時、分)
- ④ 撮影された時間(秒)
- ⑤ 通し番号(二桁の数字)
- ⑥ 撮影された機能を示す記号
 - EM: 衝撃検知時にイベント録画機能で撮影された動画
 - EMU: 手動によるイベント録画機能で撮影された動画
 - EP: イベント録画撮影時に同時に撮影された静止画
 - SM: ライブカーセキュリティ機能で撮影された動画
 - SP: ライブカーセキュリティ機能で撮影された静止画
 - DP: ドライブフォト撮影で撮影された静止画
 - RM: 連続録画で撮影された動画
- ⑦ 拡張子
動画ファイルは「.avi」、静止画ファイルは「.jpg」

撮影した動画や静止画を再生する

本機で撮影し、SDカードに保存された動画や静止画をナビゲーション本体で再生することができます。

1 **□** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 HOME画面を右にフリックして、AVメニュー画面を表示します



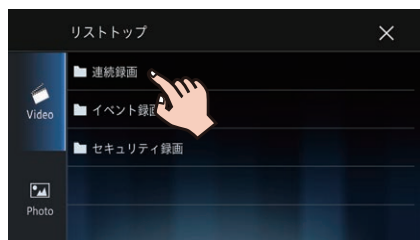
3 **Multi Recorder** にタッチします



4 **☰** → **Video** または **Photo** にタッチします



5 撮影した機能のフォルダにタッチします










6 リストに表示された項目にタッチして、リストを絞り込みます

連続録画で撮影された動画を再生する場合は、撮影した月、日にタッチしてリストを絞り込みます。




7 再生したいファイルにタッチします



動画再生画面

	再生と一時停止を切り換えます。
	再生中の動画を停止します。 動画を停止中にタッチすると、再生位置を消去し、タイムバーのカーソル  の位置を動画の先頭に戻します。
	ファイルの先頭まで早戻し再生します。 タッチするたびに、2倍速、10倍速、16倍速に切り換わります。
	ファイルの最後まで早送り再生します。 タッチするたびに、2倍速、10倍速、16倍速に切り換わります。
タイムバー	動画の再生位置を示します。カーソル  にタッチしたままスライドすると、再生位置を変更できます。
	ワイドモードの設定ができます。 Full 動画の画面アスペクト比を5:3にして表示します。 Zoom 動画の上下をそれぞれ1/8ずつカットし、画面アスペクト比を5:3にして表示します。 Normal 動画の画面アスペクト比を4:3で表示します。

静止画再生画面

	1つ前の静止画を再生します。
	次の静止画を再生します。
	ワイドモードの設定ができません。 Normal 画像の縦幅または横幅どちらか長い方が画面に収まるように拡大縮小します。 Trimming 画像の縦幅または横幅どちらか短い方に合わせて縦横比率を維持したまま画面いっぱいまで拡大します。

 メモ

- 選択したファイルの再生が終了すると、そのまま停止に切り換わります。
- ファイルを再生中に次の操作をした場合は、再度リストから再生するファイルを選択する必要があります。
 - ファイルを再生中に車のエンジンを切った場合。
 - 他のAVソースに切り換え、再びMulti Recorder ソースに切り換えた場合。
- Multi Recorderを使用中は、下記のドライブサポート機能が停止します。
 - ターゲットスコープ、誤発進警告、前方車両発進検知表示、レーンキープサポート、推定車間距離表示、信号検知表示、前方車両接近警告、右折時つられ発進検知、横断歩道予告検知表示
- リアクルーズモードで「クルージング」を選択している場合は、前方映像のみ表示されます。

撮影したファイルを消去する

撮影した年月のフォルダ、または各ファイルを消去できます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

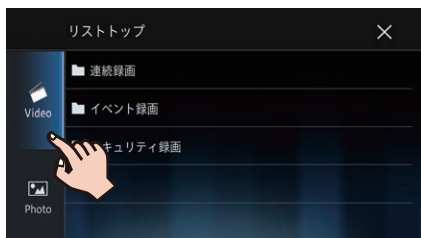
2 HOME画面を右にフリックして、AVメニュー画面を表示します



3 Multi Recorderにタッチします



4 ≡→ VideoまたはPhotoにタッチします



5 消去したいフォルダまたはファイルをリストに表示し、消去にタッチします



6 個別に選択または全て選択にタッチします

個別に選択にタッチした場合は、消去したいフォルダまたはファイルにタッチし、チェックボックスにチェックをつけます。

7 実行にタッチし、はいにタッチします

フォルダまたはファイルが消去されます。

メモ

- 一度に選択可能なフォルダ数およびファイル数は、最大1000件です。
- フォルダを消去した場合は、フォルダ内に保存されたファイルも消去されます。

駐車中に動作するセキュリティ機能 (ライブカーセキュリティ)

駐車中など車のエンジンを切っているときに本機のセンサーが異常を検知すると、ライブカーセキュリティ機能(セキュリティ録画/撮影やセキュリティインフォ)が動作します。

ライブカーセキュリティ機能は、車のエンジンを切ってから14日後に自動的に停止します。または、消費電力量が一定に達した場合も自動的に停止します。

△ 注意

- ライブカーセキュリティ機能は、各種センサーにより車両への衝撃などを検知し、センサー検知時の状況を録画、またはあらかじめ登録したメールアドレスに通知する機能です。いたずらや盗難の防止を保証するものではありません。本機能の動作の有無にかかわらず、いたずらや盗難が発生した際の被害や損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 機械式駐車場の振動、駐車場のシャッター開閉音および音が反響する地下駐車場、強い風や雨など、駐車環境やご使用状況によってはライブカーセキュリティ機能が必要以上に動作する場合があります。ご使用環境に応じて検知感度などの各種設定を行ってください。
 - ➡「ライブカーセキュリティの検知感度を調整する」(P.49)
 - ➡「ライブカーセキュリティを一時的に停止する」(P.51)



📌 メモ

- ライブカーセキュリティ機能を使うために、あらかじめ本機に市販のSDカードを入れてください。
- ライブカーセキュリティ機能の工場出荷時の設定はOFFです。機能を使う場合は設定をONにしてください。➡「ライブカーセキュリティ機能の設定」(P.48) ▶「セキュリティ」
- ライブカーセキュリティ機能は、車のエンジンをかけると解除されます。
- 本機のソフトウェアをバージョンアップ中、およびバージョンアップ中断中は、ライブカーセキュリティ機能は動作しません。
- 車のバッテリーを交換した場合は、次回ナビゲーション本体を起動するまで、ライブカーセキュリティ機能は動作しません。

駐車中に異常を検知した時に録画/ 撮影を行う(セキュリティ録画/撮影)

車のエンジンを切っているときに本機のセンサーが異常を検知すると、本機が起動し接続されたカメラでその状況を20秒間録画します。また、静止画も撮影します。

メモ

- セキュリティ録画/撮影で録画される動画、および静止画はそれぞれ最大20件までSDカードに保存されます。20件を超えた場合は、最も古い動画または静止画から順に上書き保存されます。
- SDカードスロットのカバーが開いている場合など、録画された動画がSDカードに保存できない場合は、本機の内蔵メモリーに最大10件まで保存されます。
- 本機の内蔵メモリーに動画データがある場合は、地図画面のステータスバーにが表示されます。
- 本機の内蔵メモリーに動画データが保存されている場合は、本機に空のSDカードを挿入してSDカードスロットのカバーを閉じると、自動的にSDカードに動画データが転送されます。
- 本機の内蔵メモリーにすでに動画データが10件保存されている場合は、最も古い動画データから順に上書き保存されます。
- 本機にフロアカメラユニット「ND-FLC1」を接続した場合は、フロントカメラとフロアカメラの映像が自動的に合成されて、録画/撮影されます。フロントカメラのみ、もしくはフロアカメラのみでの録画/撮影はできません。
- 撮影される動画および静止画の画質は変更できません。

駐車中に検知した異常をメールで 通知する(セキュリティインフォ)

車の異常を検知すると、あらかじめ登録されたメールアドレスに通知メール(セキュリティインフォ通知)が、送信されます。



(画面はイメージです。お使いの端末により表示が異なります。)

セキュリティインフォ通知には、静止画、異常を検知したときの自車位置情報、検知したセンサーの情報が記載されます。

メモ

- セキュリティインフォで送信できる画像数は、アクシデントインフォ(➡P.38)による画像送信と合わせて一か月あたり100枚です。100枚を超えた場合は、文字情報のみ送信されます。
- 画像の配信状況は、専用アプリ「ドライブアシスト」で確認できます。
➡「専用アプリ「ドライブアシスト」」(P.64)
- 送信される画像数は、毎月1日午前0時から当月最終日23時59分でカウントされます。
- GPS情報が取得できないなど本機の状況によっては、自車位置情報は異常を検知したときの地点と異なる場合があります。
- データ通信専用通信モジュール「ND-DC2」の電波が届きにくい場所では、通知メールが送信されないことがあります。

■セキュリティインフォを送信するための準備

セキュリティインフォを送信するためには、下記の準備が必要です。

- 本機にデータ通信専用通信モジュール「ND-DC2」を接続する。→「[機器の接続](#)」(P.11)
- 「セキュリティ」を「ON」に設定する。
→「[ライブカーセキュリティ機能の設定](#)」(P.48)
▶「[セキュリティ](#)」
- 「セキュリティインフォ設定」を「ON」に設定する。
→「[ライブカーセキュリティ機能の設定](#)」(P.48)
▶「[セキュリティインフォ設定](#)」
- パイオニアホームページ「オーナーズリンク」で、本機の商品登録およびセキュリティインフォ通知の送信先メールアドレスを登録する。
→「[オーナーズリンクの登録](#)」(P.65)

ライブカーセキュリティ機能の設定

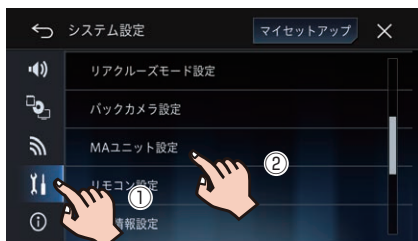
ライブカーセキュリティ機能やセキュリティインフォのON/OFF、各センサーの検知感度を設定できます。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

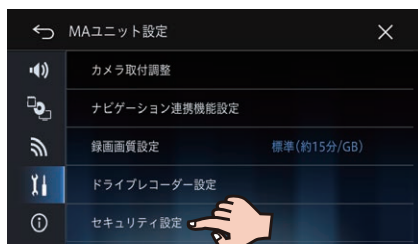
2 **AV・本体設定** にタッチします



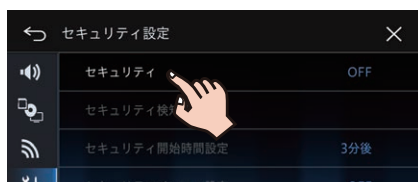
3  **MAユニット設定** にタッチします



4 **セキュリティ設定** にタッチします



5 設定したい項目にタッチします



設定項目の詳細は「[ライブカーセキュリティ機能の設定項目](#)」をご確認ください。

6 設定が終了したら、 にタッチします

■ ライブカーセキュリティ機能の設定項目

メモ

- 「セキュリティ」以外の設定項目は、「セキュリティ」が「ON」のときのみ設定できます。

____は工場出荷時の設定値です。

セキュリティ

ライブカーセキュリティ機能のON/OFFを設定します。

- **ON**
ライブカーセキュリティ機能をONにします。
- **OFF**
ライブカーセキュリティ機能をOFFにします。

セキュリティ検知設定

衝撃センサー、音圧センサー、電圧センサーの3つのセンサーのON/OFFおよび検知感度を設定します。→「ライブカーセキュリティの検知感度を調整する」(P.49)

セキュリティ開始時間設定

車のエンジンを切ってからライブカーセキュリティ機能が動作するまでの時間を**30秒後**、**1分後**、**3分後**、**5分後**の中から選択します。工場出荷時は「3分後」です。

セキュリティインフォ設定

セキュリティインフォのON/OFFを設定します。

- **ON**
セキュリティインフォをメールで通知します。
- **OFF**
セキュリティインフォを通知しません。

メモ

- 「セキュリティ」が「OFF」に設定されると、「セキュリティインフォ設定」も「OFF」に切り換わります。
- 設定を変更するには、本機またはナビゲーション本体の通信機能を有効にする必要があります。→「通信機器を使った機能について」(P.6)

オートセキュリティ検知設定

オートセキュリティストップ機能の設定を行います。→「オートセキュリティストップ機能の設定 <901/900シリーズ>」(P.54)

ライブカーセキュリティの検知感度を調整する

車両の駐車環境によりライブカーセキュリティが必要以上に動作してしまう場合は、各種センサーの検知感度を調整してください。

注意

- センサーの感度をテストする際はガラスやボディなどが破損しないように十分配慮してテストしてください。万一、破損等が発生しても当社では責任を負いかねます。

メモ

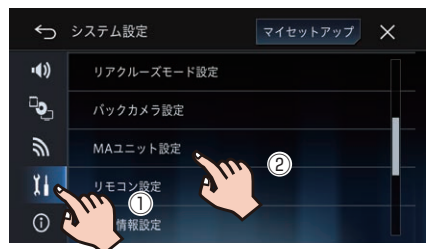
- 「セキュリティ」がONのときのみ設定できます。
- 検知感度は、セキュリティインフォ通知に記載された情報を参考に調整してください。
- 設定内容はセッティング1とセッティング2にそれぞれ登録できます。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

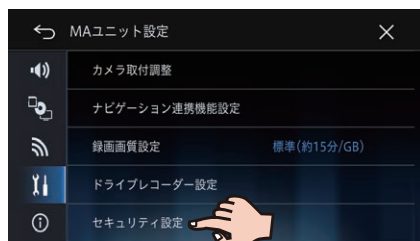
2 **AV・本体設定** にタッチします



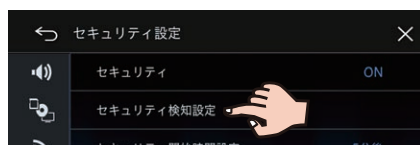
3 **MA** ユニット設定 にタッチします



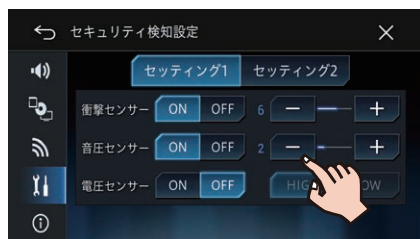
4 セキュリティ設定にタッチします



5 セキュリティ検知設定にタッチします



6 各種センサーの設定を行います



● 衝撃センサー

ON

本機の衝撃センサーで衝撃を検知します。

OFF

衝撃を検知しません。

■または+

検知感度を11段階で設定できます(工場出荷時は6)。

数値が小さいほど低感度となり、弱い衝撃は検知しづらくなります。低感度でもドア閉めの衝撃はおおむね検知します。

● 音圧センサー

ON

本機の内蔵マイクで音を検知します。

OFF

音を検知しません。

■または+

検知感度を11段階で設定できます(工場出荷時は6)。

数値が小さいほど低感度となり、小さい音は検知しづらくなります。低感度でもドア閉めの音はおおむね検知します。

● 電圧センサー

ON

電源回路や機器の電圧変化を検知します。

OFF

電源回路や機器の電圧変化を検知しません。

「電圧センサー」をONに設定した場合は、電圧の変化を検知する電源回路や機器の極性を設定します。

HIGH

電圧信号極性がLOWからHIGHに変化した場合に、電圧が変化したことを検知します。

LOW

電圧信号極性がHIGHからLOWに変化した場合に、電圧が変化したことを検知します。

7 設定が終了したら、**X**にタッチします

メモ

- 本機に別売の音響特性測定用マイク「CD-MC1」を接続した場合は、音響特性測定用マイクで音を検知します。
- 電圧信号入力（拡張入力）接続先の電源回路や機器の電圧が低い場合は、電圧センサーをONにしても電圧の変化を検知できない場合があります。また、エンジンを切っているときに電圧が変動する信号線に接続した場合はライブカーセキュリティ機能が誤動作します。誤って接続した場合はセキュリティ検知設定の電圧センサーをOFFにしてください。
 - 車両によっては接続先に適切な箇所が存在しない場合があります。本線を接続しなくてもドア開閉を衝撃センサーや音圧センサーが検知した場合にライブカーセキュリティ機能は動作します。
 - ドアの開きを検知する電源回路に接続する場合はドアが開かれるまで電圧の変化が生じない信号線に接続してください。

ライブカーセキュリティを一時的に停止する

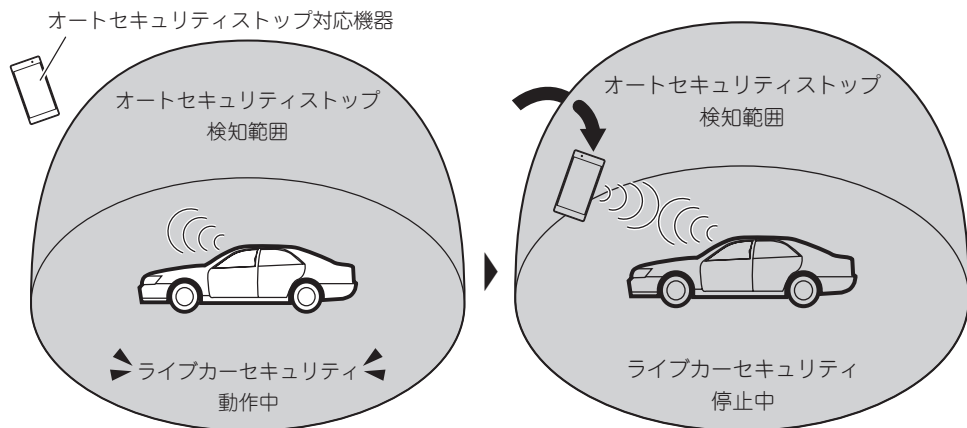
ライブカーセキュリティを必要以上に動作させないように、ライブカーセキュリティ機能を一時的に停止できます。用途に応じて次の3通りの停止方法があります。

- オートセキュリティストップ：
荷物の積み下ろし中などドライバーが車の近くにいる場合に、ライブカーセキュリティを一時的に停止できます。➡「オートセキュリティストップ<901/900シリーズ>」(P.52)
- セキュリティ停止エリア設定：
機械式駐車場に駐車する場合など、衝撃を検知する場所があらかじめ分かっているときは、ライブカーセキュリティを一時的に停止する場所として登録できます。
➡「セキュリティ停止エリア設定」(P.53)
- セキュリティインフォ一時受信停止設定：
専用アプリ「ドライブアシスト」を使って、セキュリティインフォを一時的に送信しないように設定できます。セキュリティ録画/撮影は動作します。
➡「セキュリティインフォ一時受信停止設定」(P.54)

オートセキュリティストップ <901/900シリーズ>

荷物の積み下ろし中や乗車時など、ライブカーセキュリティ機能を動作させたくないときに便利な機能です。

オートセキュリティストップ対応機器を持って本機に近づくとき、ライブカーセキュリティ機能が一時的に停止します。



メモ

- オートセキュリティストップ機能を使うには、あらかじめオートセキュリティストップ対応機器をナビゲーション本体に登録する必要があります。
➡「オートセキュリティストップ対応機器の登録 <901/900シリーズ>」(P.55)
- オートセキュリティストップ対応機器は次のとおりです。
 - 専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールした iPhone またはスマートフォン
 - 別売の MA ユニット用スマートキーホルダー「CD-SK1」
- 専用アプリ「ドライブアシスト」の動作環境および動作確認端末、別売の MA ユニット用スマートキーホルダー「CD-SK1」については、カロッツェリアホームページをご確認ください。
< <http://pioneer.jp/carrozzeria/> >
- ナビゲーション本体に登録できるオートセキュリティストップ対応機器は、最大3台です。
- オートセキュリティストップをONにしている場合、本機の検知範囲にオートセキュリティストップ対応機器があると、ライブカーセキュリティ機能は動作しません。
- オートセキュリティストップを動作させるには、あらかじめオートセキュリティストップ対応機器のBluetooth機能をONにする必要があります。

セキュリティ停止エリア設定

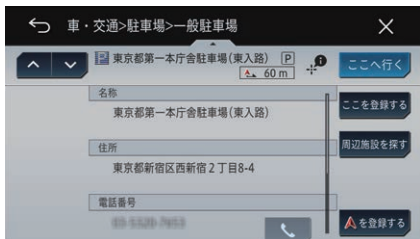
ナビゲーション本体にライブカーセキュリティ機能を停止したい場所を登録できます。

登録した場所の半径約200 m以内（セキュリティ停止エリア）に停車すると、ライブカーセキュリティ機能は自動的に停止します。

1 ライブカーセキュリティ機能を停止したい場所を探します



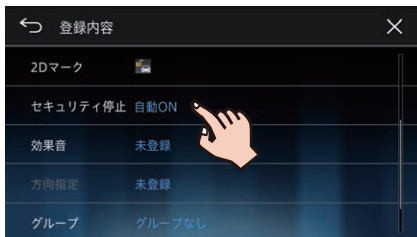
2 地点情報プレートを上にドラッグします



3 ここを登録するにタッチします




4 リストをスクロールし、セキュリティ停止にタッチして「自動ON」にします



5 Xにタッチします

メモ

- 「セキュリティ停止」を「自動ON」に設定した登録地は、2Dマークが自動的に専用のマークに切り替わります。
- セキュリティ停止エリアに近づく、またはエリアから遠ざかると、ライブインフォで通知されます。

ライブカーセキュリティ機能がOFF、または本機のセンサーが全てOFFに設定されている場合は、通知されません。

➔「ライブカーセキュリティ機能の設定」(P.48)

セキュリティインフォ一時受信停止 設定

専用アプリ「ドライブアシスト」を操作して、セキュリティインフォを一時的に停止することができます。

メモ

- 専用アプリ「ドライブアシスト」については「専用アプリ「ドライブアシスト」」(➡P.64)をご確認ください。

オートセキュリティストップ機能 の設定<901/900シリーズ>

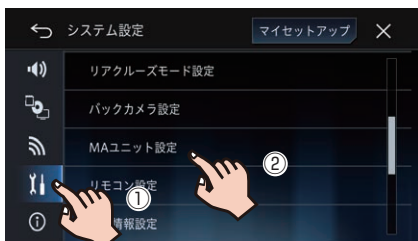
オートセキュリティストップ機能(ライブカーセキュリティ機能を一時的に停止する機能)の設定を行います。

1 **電源ボタン**を押し、HOME画面を表示します

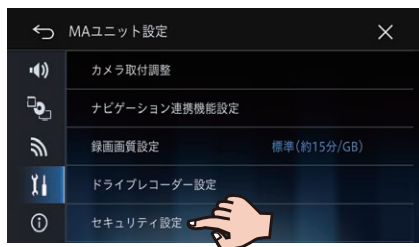
2 **AV・本体設定**にタッチします



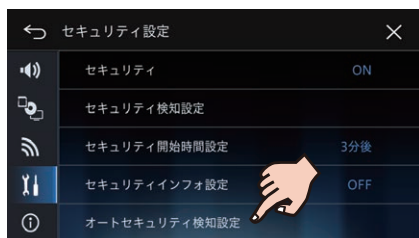
3 **MAユニット設定**にタッチします



4 **セキュリティ設定**にタッチします



5 **オートセキュリティ検知設定**にタッチします



6 設定したい項目にタッチします



「オートセキュリティストップの設定項目一覧<901/900シリーズ>」(➡P.55)をご確認ください。

7 設定が終了したら、**閉じる**にタッチします

■ オートセキュリティストップの設定 項目一覧<901/900シリーズ>

____は工場出荷時の設定値です。

オートセキュリティ検知

オートセキュリティストップ機能のON/OFFを設定します。

● ON

オートセキュリティストップ機能をONにします。

● OFF

オートセキュリティストップ機能をOFFにします。

検知機器登録/消去

オートセキュリティストップ対応機器を登録します。

設定内容および設定方法は「オートセキュリティストップ対応機器の登録 <901/900シリーズ>」(⇒P.55)をご確認ください。

検知範囲設定

オートセキュリティストップ対応機器を検知する範囲を設定します。

● 広範囲

オートセキュリティストップ対応機器を車両数台分程度の範囲で検知します。

● 普通

オートセキュリティストップ対応機器を車両付近で検知します。

● 狭範囲

オートセキュリティストップ対応機器を車両に密接すると検知します。

メモ

- オートセキュリティストップ対応機器の状態(かばんの中にあるなど)によって、検知範囲が異なります。

デバイス名

iPhoneまたはスマートフォンから機器を登録する際に、iPhoneまたはスマートフォン上に表示されるデバイス名を変更できます。

工場出荷時は「Pioneer Navi BLE」です。

変更方法は「デバイス名を変更する<901/900シリーズ>」(⇒P.57)をご確認ください。

オートセキュリティストップ対応 機器の登録 <901/900シリーズ>

オートセキュリティストップ機能を使うために、ナビゲーション本体にオートセキュリティストップ対応機器を登録します。

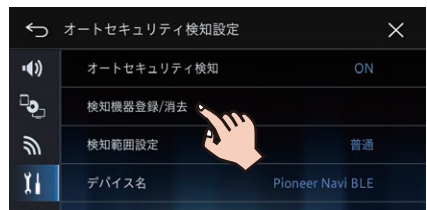
オートセキュリティストップ機能に対応している機器は次のとおりです。

- 専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォン
- 別売のMAユニット用スマートキーホルダー「CD-SK1」

メモ

- 機器の登録は、iPhoneまたはスマートフォン、別売のMAユニット用スマートキーホルダーを合計3台まで登録できます。
- Android™ OS5.0未満の端末は本機能に非対応です。

1 検知機器登録/消去にタッチします



2 Qにタッチします



3 登録したい機器の種別を選択します

iPhone/スマートフォン(Android)

専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールしたiPhoneまたはスマートフォンを登録する場合に選択します。

「iPhone/スマートフォン(Android)にタッチした場合」(⇒P.56)にお進みください。

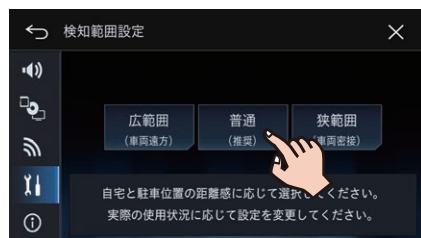
スマートキーホルダー

別売のMAユニット用スマートキーホルダー「CD-SK1」を登録する場合に選択します。

「スマートキーホルダーにタッチした場合」(⇒P.57)にお進みください。

機器の登録に成功すると、検知範囲を設定する画面が表示されます。

4 広範囲、普通または狭範囲にタッチして、検知範囲を設定します



機器の登録完了メッセージが表示されます。

5 確認にタッチします

以上で機器の登録は終了です。

メモ

- 複数の機器を登録した場合は、最後に設定した検知範囲がすべての機器に適用されます。

■ iPhone/スマートフォン(Android)にタッチした場合

1 iPhone/スマートフォン(Android)にタッチします



メッセージが表示されます。



2 メッセージを表示したまま、iPhoneまたはスマートフォンを操作してメッセージに表示された機器名を検索し、登録します

機器名は「Pioneer Navi BLE」(工場出荷時)です。

登録が成功すると、検知範囲を設定する画面が表示されます。

以降の手順は、「オートセキュリティストップ対応機器の登録 <901/900シリーズ>」(⇒P.56)手順4をご確認ください。

メモ

- お使いの端末 (iPhoneまたはスマートフォン)によって、メッセージ表示中の端末の操作が異なります。詳しくは、専用アプリ「ドライブアシスト」内のFAQをご確認ください。

■スマートキーホルダーにタッチした場合

メモ

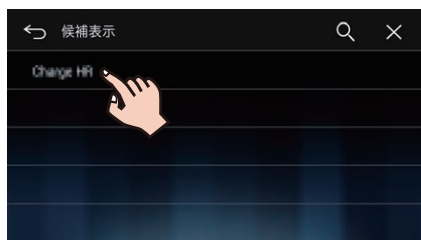
- あらかじめスマートキーホルダーの電源を入れてください。
- 複数のオートセキュリティストップ対応機器を同時に登録する場合は、登録する機器のみ電源を入れてください。

1 スマートキーホルダーにタッチします



登録可能機器がリストで表示されます。

2 登録したい機器にタッチします



タッチした機器の登録に成功すると、検知範囲を設定する画面が表示されます。

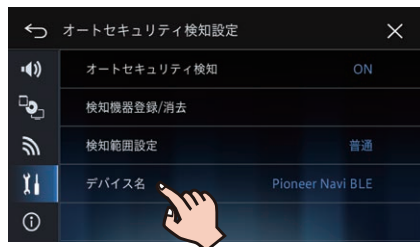
以降の手順は、「オートセキュリティストップ対応機器の登録 <901/900シリーズ>」(⇒P.56) 手順4をご確認ください。

デバイス名を変更する <901/900シリーズ>

iPhoneまたはスマートフォンから機器を登録する際に、iPhoneまたはスマートフォン上に表示されるデバイス名を変更できます。

工場出荷時は「Pioneer Navi BLE」です。

1 デバイス名にタッチします



2 [✕]にタッチして、入力済みのデバイス名を削除します

3 変更したいデバイス名を入力し、**入力終了**にタッチします

その他の機能・設定

消失点学習を行う

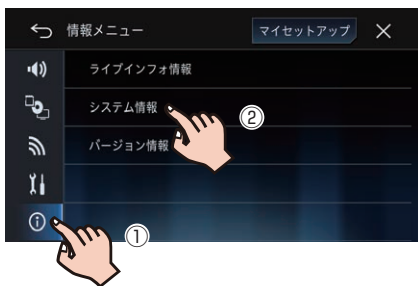
フロントカメラの位置や角度、高さの設定を変更した場合は、消失点学習リセットを行い、再学習させてください。

1 **電源** ボタンを押し、HOME画面を表示します

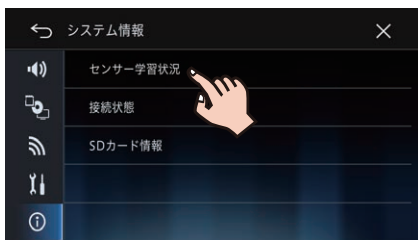
2 **AV・本体設定** にタッチします



3 **システム情報** にタッチします



4 **センサー学習状況** にタッチします



5 **MAユニット消失点学習** にタッチします

消失点学習リセットを確認するメッセージが表示されます。

6 **はい** にタッチします

消失点学習がリセットされます。

7 **X** にタッチします

8 **車を走行させて、消失点学習を行います**

消失点学習が終了すると、手順5の画面の「MAユニット消失点学習」に「学習済み」と表示されます。

また、ARスカウタービューを表示すると、実写映像の中央に消失点を示す白い線が表示されます。

メモ

- 次のような条件下で消失点学習することをお勧めします。
 - 2車線以上で走行車線の両側の白線がはっきりしている道
 - 空いている道（道が混んでいると白線が認識できない）
 - なるべく直線に近い道
 - 天気が良好なとき（雨、霧などで視界が悪くないとき）
 - 太陽が前方に見えないとき
- 消失点とは、風景や直線の道路などが遠くなるほど小さくなり、やがては点に収束してしまうその点のことです。本機ではドライブサポート機能で画像を認識するために利用しています。ドライブサポート機能が正しく動作しない場合は消失点学習を初期化してしばらく走行してください。

SDカード情報を確認する

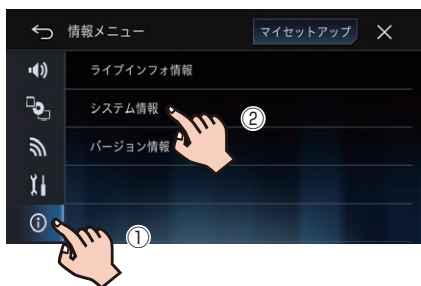
本機に入っているSDカードの空き容量や、撮影された機能ごとに動画や静止画の保存領域や空き領域が確認できます。

1 **HOME** ボタンを押し、HOME画面を表示します

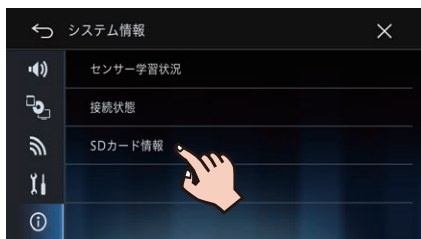
2 **AV・本体設定** にタッチします



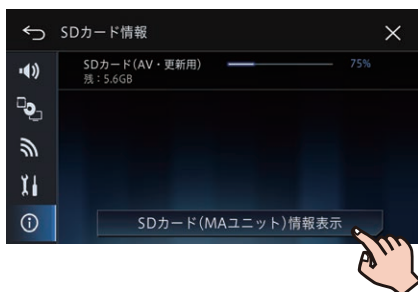
3 **システム情報** にタッチします



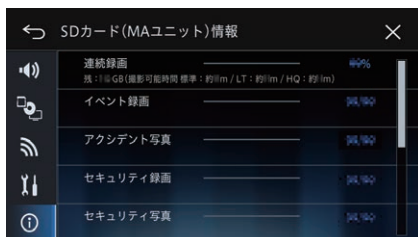
4 **SDカード情報** にタッチします



5 **SDカード(MAユニット)情報表示** にタッチします



本機に挿入されたSDカードの情報が表示されます。



6 **×** にタッチします

スマートループアイ スポットの自動撮影と送信

走行中にスマートループ アイ スポットを通過する際、自動的に静止画を撮影し、サーバーにアップロードします。

メモ

- 本機能は、次の場合に動作します。
 - ナビゲーション本体のスマートループ設定「プローブ情報送信設定」および「スマートループアイ情報送信設定」が ON の場合
 - 本機またはナビゲーション本体の通信機能が使用できる状態の場合
➔ 「通信機器を使った機能について」(P.6)

バージョンアップ

本機のバージョンアップは、ナビゲーション本体のバージョンアップ終了後に自動的に行われます。

メモ

- バージョンアップは本機用の新しいバージョンアップデータがある場合のみ行われます。
- 本機のバージョンアップが終了するまで車のエンジンを切らないでください。
- ナビゲーションのバージョンアップについては、ナビゲーションに付属の「バージョンアップ スタートアップガイド」をご確認ください。

■本機のソフトウェアバージョンを確認する

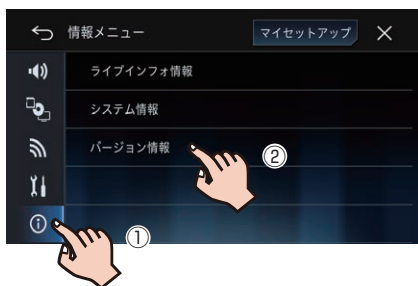
本機をナビゲーションに接続すると、ナビゲーションのバージョン情報画面に本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

1 **HOME** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定** にタッチします



3 **バージョン情報** にタッチします



4 **バージョンを確認** します



5 **バージョンの確認が終わったら、** **閉じる** にタッチします

設定の初期化について

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻せます。

⚠ 注意

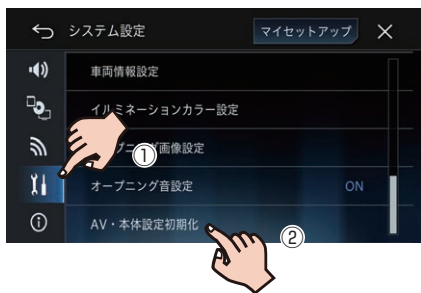
- 本機の内蔵メモリーに保存された録画データおよび消失点の学習結果も消去されます。「工場出荷状態に戻す」を選択すると、MAユニット設定だけでなく、ナビ設定、AV・本体設定もすべて消去されます。

1  ボタンを押し、HOME画面を表示します

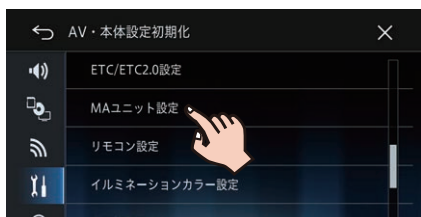
2 AV・本体設定にタッチします



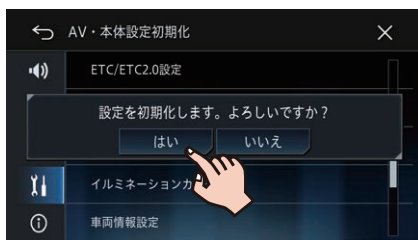
3  → AV・本体設定初期化にタッチします



4 MAユニット設定にタッチします



5 はいにタッチします



設定が初期化されます。

6  にタッチします

オプション機器

フロアカメラユニット「ND-FLC1」

本機にフロアカメラユニット「ND-FLC1」(同梱または別売)を接続すると、次の機能が使えます。

- ドライブレコーダー機能(連続録画、イベント録画、アクシデントインフォ)では、フロントカメラとフロアカメラユニットの映像を合成して撮影するか、フロアカメラユニットの映像を撮影するかを選択できます。
- ライブカーセキュリティ機能では、フロントカメラとフロアカメラユニットの映像が自動的に合成されて撮影されます。

メモ

- ライブカーセキュリティ機能のセキュリティ録画/撮影では、フロントカメラのみ、もしくはフロアカメラユニットのみでの録画/撮影はできません。

■フロアカメラユニットの向きを調整する

本機にフロアカメラユニット「ND-FLC1」を接続した場合は、フロアカメラユニットの角度を調整しやすいように、ナビゲーションにフロアカメラユニットのカメラ映像を表示して調整できます。

メモ

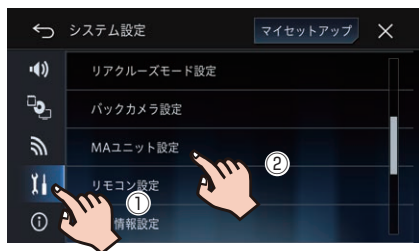
- フロアカメラユニットを接続していない場合は、設定項目が表示されず、調整できません。

1 **田** ボタンを押し、HOME画面を表示します

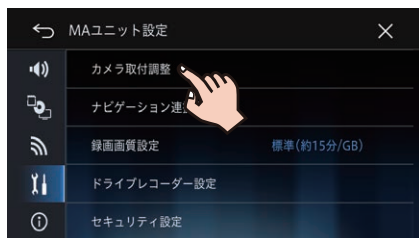
2 **AV・本体設定** にタッチします



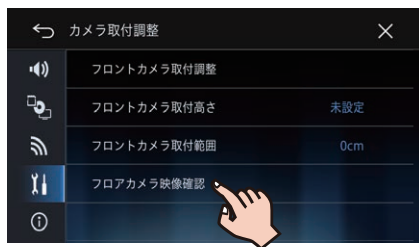
3 **MAユニット設定** にタッチします



4 **カメラ取付調整** にタッチします



5 **フロアカメラ映像確認** にタッチします



6 表示させたフロアカメラユニットの映像を見ながら、フロアカメラユニットの角度を調整します

7 調整が終わったら、フロアカメラユニットを固定します

8 **X** にタッチします

■ ドライブレコーダー機能で使用するカメラを設定する

ドライブレコーダー機能で、どのカメラを使って動画や静止画を撮影するのかが設定します。

工場出荷時は「フロントカメラ」です。

メモ

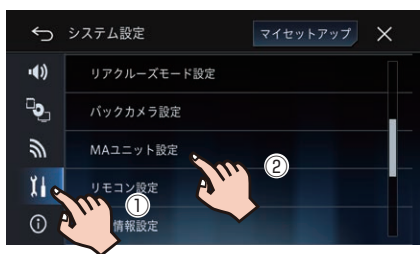
- フロアカメラユニットを接続していない場合は、設定項目が表示されません。

1 画面ボタンを押し、HOME画面を表示します

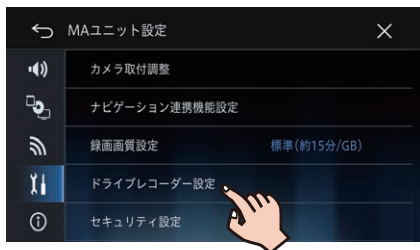
2 AV・本体設定にタッチします



3 MAユニット設定にタッチします



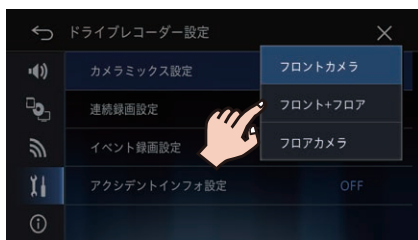
4 ドライブレコーダー設定にタッチします



5 カメラミックス設定にタッチします



6 設定したい項目にタッチします



フロントカメラ

フロントカメラで撮影します。

フロント+フロア

フロントカメラとフロアカメラユニットの映像を合成して撮影します。

フロアカメラ

フロアカメラユニットで撮影します。

メモ

- 本設定にかかわらず、ドライブフォト撮影ではフロントカメラのみで撮影されます。

MAユニット用スマートキーホルダー 「CD-SK1」<901/900シリーズ>

オートセキュリティストップ機能に対応した別売のキーホルダーです。



ナビゲーションにオートセキュリティストップ対応機器として登録すると、ライブカーセキュリティ機能を一時的に停止できます。

メモ

- 使用方法など商品の詳細については、MAユニット用スマートキーホルダーに付属の取扱説明書をご確認ください。
- オートセキュリティストップ機能については「オートセキュリティストップ <901/900シリーズ>」(➡P.52)をご確認ください。

専用アプリ「ドライブアシスト」



iPhoneやスマートフォンに専用アプリ「ドライブアシスト」をインストールし、ナビゲーションにBluetooth機器として登録すると、下記の機能を使用することができます。

- フォトシェアリング
- アクシデントインフォ一時受信停止機能
- オートセキュリティストップ
- セキュリティインフォ一時受信停止機能
- アクシデントインフォ/セキュリティインフォの画像配信状況の確認

メモ

- 専用アプリ「ドライブアシスト」の入手方法、動作環境や動作確認端末については、カロッツェリアホームページをご確認ください。
< <http://pioneer.jp/carrozzeria/> >
- 専用アプリ「ドライブアシスト」の操作方法やFAQについては、次のホームページでご確認ください。
 - iPhone 版
< http://pioneer.jp/support/pcperipherals/app/iapp_drive_assist/jp.html >
 - Android™ 版
< http://pioneer.jp/support/pcperipherals/app/aapp_drive_assist/jp.html >

オーナーズリンクの登録

アクシデントインフォ (⇒P.38) とセキュリティインフォ (⇒P.47) を使うには、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」(以降「オーナーズリンク」)であらかじめ本機の商品登録が必要です。また、「マルチドライブアシストユニット管理」から通知先メールアドレスを登録する必要があります。 < <https://car-users.pioneer.jp/> >

メモ

- 本機の商品登録を行う前に、あらかじめナビゲーション本体の商品登録を行ってください。ナビゲーション本体の商品登録に関する詳細な手順は、ナビゲーション本体に付属の『バージョンアップ スタートアップガイド』をご確認ください。
- 「オーナーズリンク」に関するご不明な点については、「オーナーズリンク」内の「よくあるご質問」も合わせてご確認ください。 < <https://car-users.pioneer.jp/qa> >

本機の商品登録を行う

はじめに、「オーナーズリンク」で本機の商品登録を行います。

メモ

- 本機が同梱されたナビゲーション本体を商品登録した場合は、次の手順を行う必要はありません。続いて、「通知先メールアドレスを登録する」(⇒P.67)をご確認ください。

1 「オーナーズリンク」にアクセスし、ログインします



お客様メニュー画面が表示されます。

2 「商品情報」の[商品登録]をクリックします



3 商品型番を入力するか、カテゴリから絞り込んでお使いの商品を検索します



4 検索結果一覧から本機の商品型番を選択し、[次へ]をクリックします



5 [この商品を登録する]をクリックします



6 保証書に記載されている「製造番号(アルファベットと数字の12桁)」を入力します

7 以降の情報を入力し[確認]をクリックします

8 入力した内容を確認し、問題がなければ[登録]をクリックします

登録完了画面が表示され、商品登録が完了します。
引き続き、ナビゲーション本体の登録内容を変更します。

本機を接続するナビゲーション本体を設定する

次に、本機を接続するナビゲーション本体の登録内容を変更します。

メモ

- 本機が同梱されたナビゲーション本体を商品登録した場合は、次の手順を行う必要はありません。続いて、「通知先メールアドレスを登録する」(⇒P.67)をご確認ください。

1 「オーナーズリンク」のお客様メニュー画面から、「商品情報」の「お客様登録商品情報」をクリックします



登録商品画面が表示されます。

2 「検索結果一覧」から本機を接続するナビゲーションを選択します

3 [次へ]をクリックします



登録商品情報画面が表示されます。

4 [この商品の登録情報参照・変更]をクリックします



商品更新画面が表示されます。

5 「マルチドライブアシストユニット」欄の「マルチドライブアシストユニットを使用」にチェックをつけ、[確認]をクリックします



入力内容の確認画面が表示されます。

6 登録内容を確認し、問題がなければ[更新]をクリックします

商品更新完了画面が表示されます。
そのまま引き続き、通知先メールアドレスを登録します。

通知先メールアドレスを登録する

最後に、「オーナーズリンク」で通知先メールアドレスの登録を行います。

1 [マルチドライブアシストユニット通知先設定]をクリックして、通知先メールアドレスを登録します



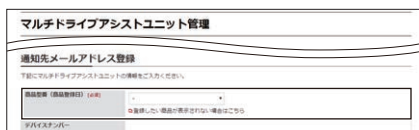
マルチドライブアシストユニット管理画面が表示されます。

メモ

- 本機が同梱されたナビゲーション本体を商品登録した場合は、「オーナーズリンク」にアクセス、ログイン後「マルチドライブアシスト管理」を選択します。



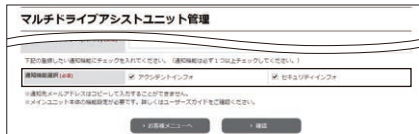
2 「通知先メールアドレス登録」欄の「商品型番 (商品登録日)」で、本機を接続するナビゲーション本体を選択します



3 通知先メールアドレスを入力します



4 「通知機能選択」欄で、通知メールを送信したい機能にチェックを付けます



5 [確認]をクリックします

通知先メールアドレス登録の確認画面が表示されます。

6 内容を確認し、問題がなければ [登録] をクリックします



以上で通知先メールアドレスの登録は完了です。

メモ

- 「通知先メールアドレス一覧」の「確認メール送信」をクリックすると、登録したメールアドレスに確認メールを送信できます。メールが届かない場合は、「通知先確認メール送信完了」画面に記載されている事項をご確認ください。



サブドライバー登録について

「オーナーズリンク」では、メインドライバーとサブドライバーを設定できます。

メインドライバーとは、「オーナーズリンク」でお客様IDを取得および商品登録を行い、商品の使用・管理をされているお客様を指します。

また、サブドライバーとは、「オーナーズリンク」で、メインドライバーが特定の商品に対し、一部の機能について使用を許可したお客様を指します。

本機では、サブドライバーに登録されたお客様は、セキュリティインフォ、アクシデントインフォの一時受信停止設定ができます。

- 1 メインドライバーのお客様が「オーナーズリンク」にアクセスし、ログインします

お客様メニュー画面が表示されます。

- 2 「お客様情報管理」の[サブドライバー管理]をクリックします



サブドライバー管理画面が表示されます。

- 3 「サブドライバー登録」欄の「商品型番 (商品登録日)」で、本機を接続するナビゲーション本体を選択します



- 4 サブドライバーに設定するお客様の氏名と通知先メールアドレスを入力し、「確認」をクリックします



サブドライバー登録確認画面が表示されます。

- 5 内容を確認し、問題がなければ「登録」をクリックします



入力した通知先メールアドレスに、サブドライバー登録手続きメールが送信されます。

※手順6以降は、サブドライバー登録手続きメールを受信したお客様が操作を行います。

6 メールに記載されたサブドライバー登録手続き用URLをクリックします

7 [サブドライバー登録へ進む]をクリックします

約款が表示されます。

サブドライバーに登録するお客様がすでに「オーナーズリンク」でお客様登録をされている場合は、手順7で[サブドライバー登録確認]をクリックします。サブドライバー登録完了画面が表示され、登録が完了します。

8 約款を確認し、問題がなければ[同意する]をクリックします

パスワード設定画面が表示されます。

9 パスワード設定フォームでパスワードを入力し、[設定]をクリックします

サブドライバー登録完了画面が表示されます。

以上で、サブドライバーの登録は完了です。

メモ

- メールに記載されたURLは、24時間以上経過していた場合「有効期限切れ」メッセージが表示されます。
- サブドライバー登録が完了するまでは、サブドライバー一覧のメールアドレス欄に「登録未完了」と表示されます。
- メインドライバーとしてお客様登録を行ったメールアドレス、および商品登録を行った商品に対しては、サブドライバーとして登録することはできません。
- お客様登録されていないメールアドレスでサブドライバー登録を行った場合、「オーナーズリンク」のお客様登録も同時に行われます。(サブドライバーとして登録したメールアドレスがお客様IDとなります。)

インジケータ表示とブザー音について

本機は、機器の状態をインジケータ表示とブザー音で確認できます。

インジケータ表示	状態	対処
緑点灯	SDカードが保存可能な状態にあるとき	正常動作です。
赤点灯	SDカードに保存中、またはSDカード内のデータを読み込み中	正常動作です。
緑点滅 (0.25秒間隔)	本機起動時	正常動作です。
緑点滅 (0.5秒間隔)	SDカードが挿入されていない。 またはSDカードの異常を検知したとき	SDカードを確認してください。
赤点滅	何らかのエラーが発生したとき	ナビゲーション本体との接続を確認してください。
赤点灯⇄緑点灯	初期化中およびプログラム更新中	電源を切らずにそのままお待ちください。

ブザー音	状態	対処
ピッ	イベント録画 (ユーザー操作) 保存開始時	正常動作です。
ピピッ	イベント録画 (衝撃センサー検知) 保存開始時	正常動作です。
ピピー	連続録画 (ユーザー操作) 保存開始時 / 保存停止時	正常動作です。
ピーー	SDカードが保存できない状態のとき	SDカードを確認してください。
ピーピッピッピッ	プログラム更新開始	電源を切らずにそのままお待ちください。
ピッピッピッ	終了 (初期化終了・プログラム更新終了)	自動的に再起動します。そのままお待ちください。
ピピーピーピーピー (2回繰り返し)	何らかのエラーが発生したとき	接続を確認してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは「保証書とアフターサービス」(⇒P.78)をお読みになり修理を依頼してください。

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
推定車間距離が表示されない	<p>原因：カメラ取付調整の「フロントカメラ取付高さ」、およびナビゲーション本体の「車両情報設定」-「駐車制限(車両寸法)」の「車両寸法：高さ(H)」の両方が未入力の場合、推定車間距離を表示できません。</p> <p>処置：フロントカメラ取付高さを入力してください。 ⇒「フロントカメラの取り付け状態を設定する」(P.21)</p>
推定車間距離が間違っていると感じる	<p>原因：消失点学習が未学習の場合は車間距離は不正確になります。</p> <p>処置：しばらく直線道路を走行して、消失点学習を行ってください。⇒「消失点学習を行う」(P.58)</p> <p>原因：カメラ取付調整の「フロントカメラ取付高さ」の入力値が実際と異なる場合、正確な推定車間距離が表示できません。</p> <p>処置：入力値をご確認ください。入力値が正しい場合は、消失点学習のリセットを行ってください。 ⇒「フロントカメラの取り付け状態を設定する」(P.21) ⇒「消失点学習を行う」(P.58)</p> <p>原因：平面道路を走行中の場合を想定して車間距離を算出しています。自車、または、前方車両が坂の途中にいる場合などは正しくない場合があります。</p>
ドライブサポート機能が正しく動作しない	<p>原因：本機をご購入後、ナビゲーション本体が一度もGPS衛星からの信号を受信していない場合は、ドライブサポート機能が動作しません。</p> <p>処置：ナビゲーション本体の地図画面の時刻表示が、「――：――」と表示されている場合は、見晴らしの良い場所に車を移動してGPS衛星からの信号を受信させてください。</p> <p>原因：天候や時間帯など周囲の状況によって、正しく認識できない場合があります。</p>
書き込みエラーが発生する録画できない	<p>原因：本機をご購入後、ナビゲーション本体が一度もGPS衛星からの信号を受信していない場合は、ドライブレコーダー機能は使えません。</p> <p>処置：ナビゲーション本体の地図画面の時刻表示が、「――：――」と表示されている場合は、見晴らしの良い場所に車を移動してGPS衛星からの信号を受信させてください。</p> <p>原因：SDカードに他のデータを書き込むと、録画できなくなることがあります。</p> <p>処置：SDカードを確認してください。</p> <p>原因：SDカードのライトプロテクト(書き込み防止)スイッチがLOCKになっています。</p> <p>処置：ライトプロテクトスイッチをUNLOCKにしてください。</p>

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
書き込みエラーが発生する 録画できない(続き)	原因：正しくフォーマットされていない可能性があります。 処置：専用のフォーマッターを使用してフォーマットし直してください。
	原因：SDカードの寿命が過ぎています。 処置：新しいSDカードをお試しください。
	原因：SDカードのパーティションが切られています。 処置：パーティションを切ったSDカードは使用できません。パーティションを切っていないSDカードを使用してください。
	原因：連続録画およびイベント録画は、ドライブレコーダー設定の「SDカード上書き設定」が「録画停止」の場合、SDカードの空き領域が不足した場合は自動停止します。 処置：常に最新の録画データを保存したい場合は、「上書き」に設定してください。 ▶「ドライブレコーダー機能/アクシデントインフォ機能の設定」(P.39)
消失点学習が終わらない	処置：再度カメラの取付調整と消失点学習のリセットを行ってください。▶「消失点学習を行う」(P.58)
インジケータ表示が緑点滅(0.5秒間隔)となり、SDカードを認識しない	処置：インジケータ表示が緑点滅(0.5秒間隔)でSDカードを認識しないため録画できないときは下記の順で、それぞれご確認ください。 1.SDカードを取り出し、再び挿入してください。 2.SDカードをフォーマットしてから挿入してください。 3.別のSDカードを準備し、フォーマットしてから挿入してください。 4.修理が必要です。販売店へご相談ください。
ライブカーセキュリティ機能でフロアカメラユニットによる撮影ができない	原因：フロアカメラユニットの電源端子(赤リード線)がアクセサリ電源(ACC)に接続されており、MAユニットのフロアカメラ電源接続用端子に接続されていません。 処置：フロアカメラユニットの電源端子(赤リード線)をMAユニットのフロアカメラ接続用端子に接続してください。 ▶「フロアカメラユニットの接続」(P.13)
パイオニアホームページ「オーナーズリンク」の「お客様メニュー」に「マルチドライブアシストユニット管理」が表示されない	原因：ナビゲーション本体の商品登録が完了していません。 処置：ナビゲーション本体の商品登録を行ってください。 商品登録の方法については、ナビゲーション本体に同梱の『バージョンアップ スタートアップガイド』をご確認ください。
	原因：ナビゲーション本体を商品登録する際に、「マルチドライブアシストユニット」にチェックがついていません。 処置：「オーナーズリンク」にログインし、「商品情報」の「お客様登録商品情報」から、本機を接続するナビゲーション本体の情報を変更し、「マルチドライブアシストユニットを使用」にチェックをつけてください。 ▶「本機を接続するナビゲーション本体を設定する」(P.66)

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
<p>アクセシントインフォおよびセキュリティインフォが送信されない</p>	<p>原因：お使いのメールサービスの受信設定で、URL付メールやHTMLメールの受信拒否が設定されています。</p> <p>処置：URL付メールやHTMLメールを受信拒否設定をされているお客様は、弊社から送信されるURL付メールを受信できるように設定してください。</p> <hr/> <p>原因：メール受信拒否設定や迷惑メールのフィルター機能により、弊社ドメインからのメールが受信拒否されています。</p> <p>処置：メール受信拒否設定をされているお客様は、弊社ドメイン名 (@info.smartloop.jp) を受信許可ドメインに追加してください。</p> <hr/> <p>原因：お使いのデータ通信専用通信モジュールの有効期限が切れています。</p> <p>処置：UIMカードまたはデータ通信専用通信モジュールを新規にご購入ください。</p>
<p>アクセシントインフォが送信されない</p>	<p>原因：「アクセシントインフォ設定」が「OFF」に設定されています。</p> <p>処置：「アクセシントインフォ設定」を「ON」に設定してください。 ➡「ドライブレコーダー機能/アクセシントインフォ機能の設定」(P.39) ▶「アクセシントインフォ設定」(P.41)</p> <hr/> <p>原因：バイオニアホームページ「オーナーズリンク」の「マルチドライブアシストユニット管理」で通知先メールアドレスが登録されていません。</p> <p>処置：「オーナーズリンク」にログインし、「お客様情報管理」の「マルチドライブアシストユニット管理」から通知先メールアドレスを登録してください。 ➡「通知先メールアドレスを登録する」(P.67)</p> <hr/> <p>原因：ナビゲーション本体および本機が起動中に、送信先メールアドレスが登録されました。</p> <p>処置：車のエンジンをかけ直してナビゲーション本体および本機の電源をOFFし、再度ONしてください。ナビゲーション本体および本機が起動中に送信先メールアドレスを登録した場合、ナビゲーション本体および本機の電源を入れ直すまでアクセシントインフォは動作しません。</p>
<p>セキュリティインフォが送信されない</p>	<p>原因：「セキュリティインフォ設定」が「OFF」に設定されています。</p> <p>処置：「セキュリティインフォ設定」を「ON」に設定してください。 ➡「ライブカーセキュリティ機能の設定」(P.48) ▶「セキュリティインフォ設定」(P.49)</p> <hr/> <p>原因：「セキュリティ停止エリア」に設定した場所の半径200 m以内に停車しています。</p> <p>処置：「セキュリティ停止エリア」に設定した場所の半径200 mから移動すると、ライブカーセキュリティは動作します。 ➡「セキュリティ停止エリア設定」(P.53)</p>

エラーメッセージと対処方法

本機を接続したナビゲーション本体には、以下のメッセージが表示されます（バージョンによって異なる場合があります）。

メッセージ	考えられる原因とその処置
Webサイト「オーナーズリンク」で、メール通知先を設定してください。	<p>原因：アクシデントインフォ、またはセキュリティインフォの設定を変更する際に、パイオニアホームページ「オーナーズリンク」で、通知先メールアドレスの登録がされていない。</p> <p>処置：パイオニアホームページ「オーナーズリンク」で、あらかじめ通知先メールアドレスを登録してください。 ➡「通知先メールアドレスを登録する」(P.67)</p>
SDカードの容量が不足しています。録画をするには、SDカード内の録画ファイルを消去するか、SDカードを交換してください。	<p>原因：「連続録画設定」または「イベント録画設定」の「SDカード上書き設定」を変更しようとした際、本機に挿入されているSDカードの空き容量が足りなかった。</p> <p>処置：SDカード内の動画ファイルを削除するか、SDカードを交換してください。</p>
全てのセンサーがOFFに設定されたため、現在本機能は動作せず、停止状態です。	<p>原因：ライブカーセキュリティ機能のセキュリティ検知設定で、衝撃センサー、音圧センサー、電圧センサーがすべてOFFに設定されている。</p> <p>処置：ライブカーセキュリティ機能を動作させたい場合は、いずれかのセンサーの設定をONにしてください。 ➡「ライブカーセキュリティの検知感度を調整する」(P.49)</p>
MAユニットの録画機能を停止します。	<p>原因：フロントカメラ取付調整画面を表示したため、録画が停止された。</p> <p>処置：他の画面を表示すると、自動的に録画が再開します。</p>
MAユニットのSDカードスロットを閉じてください。	<p>原因：本機のSDカードスロットのカバーが開いているため、動画または静止画が撮影できない。</p> <p>処置：SDカードスロットのカバーを閉じてください。</p>
MAユニットの連続録画を開始できません。SDカード内の録画ファイルを消去するか、SDカードを交換してください。	<p>原因：「連続録画設定」の「SDカード上書き設定」が「録画停止」に設定された状態で、本機に挿入されているSDカードの容量が足りなくなったため、連続録画が開始できない。</p> <p>処置：SDカード内の録画ファイルを削除するか、SDカードを交換してください。 または、「連続録画設定」の「SDカード上書き設定」を「上書き」に設定してください。 ➡「連続録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」</p>
MAユニットの連続録画の残容量が少なくなりました。SDカード内の録画ファイルを消去するか、SDカードを交換してください。	<p>原因：「連続録画設定」の「SDカード上書き設定」が「録画停止」に設定された状態で、本機に挿入されているSDカードの容量が少なくなった。</p> <p>処置：SDカード内の録画ファイルを削除するか、SDカードを交換してください。 または、「連続録画設定」の「SDカード上書き設定」を「上書き」に設定してください。 ➡「連続録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」</p>

メッセージ	考えられる原因とその処置
MAユニットのイベント録画の録画可能件数は残り5件です。SDカード内の録画ファイルを消去するか、SDカードを交換してください。	原因：「イベント録画設定」の「SDカード上書き設定」が「録画停止」に設定された状態で、本機に挿入されているSDカードに保存可能なイベント録画の件数が残り5件となった。 処置：SDカード内の録画ファイルを削除するか、SDカードを交換してください。 または、「イベント録画設定」の「SDカード上書き設定」を「上書き」に設定してください。 ➡「イベント録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」
MAユニットのイベント録画の保存件数が上限になりました。SDカード内の録画ファイルを消去するか、SDカードを交換してください。	原因：「イベント録画設定」の「SDカード上書き設定」が「録画停止」に設定された状態で、本機に挿入されたSDカードに保存されたイベント録画の保存件数が上限に達した。 処置：SDカード内の録画ファイルを削除するか、SDカードを交換してください。 または、「イベント録画設定」の「SDカード上書き設定」を「上書き」に設定してください。 ➡「イベント録画設定」(P.40) ▶「SDカード上書き設定」
ナビゲーション本体とMAユニットのバージョンが異なります。ナビゲーション本体のバージョンを確認してください。	原因：本機とナビゲーション本体のソフトウェアのバージョンが異なるため、どちらか一方または両方のバージョンアップが必要である。 処置：本機およびナビゲーション本体のソフトウェアのバージョン情報を確認し、更新データが存在する場合はバージョンアップを行ってください。 ➡「本機のソフトウェアバージョンを確認する」(P.60)
MAユニットと通信ができなくなりました。MAユニットを確認してください。	原因：本機とナビゲーション本体の接続が外れた。 処置：本機とナビゲーション本体の接続状態を確認してください。
温度異常を検知したため、MAユニットを停止しました。	原因：本機の内部温度が高い。 処置：内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
MAユニットの異常を検出しました。エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示される場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：本機とフロントカメラユニットの接続が外れた。 処置：本機とフロントカメラユニットの接続を確認してください。改善されない場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。
Bluetooth機器が接続されていません。	原因：フォトシェアリング機能による静止画の送信先のiPhoneまたはスマートフォンが、ナビゲーション本体とBluetooth接続されていない。 処置：iPhoneまたはスマートフォンをナビゲーション本体とBluetooth接続してください。
転送するドライブフォトがありません。	原因：フォトシェアリング機能で送信するための静止画がSDカードに保存されていない。 処置：ドライブフォト撮影で静止画を撮影し、再度送信してください。

メッセージ	考えられる原因とその処置
iPhoneがUSB接続されているため、ドライブフォトを転送できません。	原因：フォトシェアリング機能による静止画の送信先のiPhoneが、ナビゲーション本体とUSB接続されている。 処置：iPhoneをUSB接続ケーブルから外してください。
アクシデントインフォ通知を送信できませんでした。	原因：通知先メールアドレスの登録が間違っているため、アクシデントインフォ通知が送信できない。 処置：正しい通知先メールアドレスを登録してください。
回線が接続できません。しばらくしてからアクセスしてください。	原因：「アクシデントインフォ設定」または「セキュリティインフォ設定」の設定を変更する際に、何らかの原因で一時的にサーバーにアクセスできない。 処置：サーバーにアクセスできるまでお待ちください。
MAユニットのデータ転送中にエラーが発生しました。	原因：本機のバージョンアップデータを転送中にエラーが発生した。 処置：本機とナビゲーション本体の接続状態を確認してください。その後、車のエンジンをかけ直して、バージョンアップをやり直してください。
MAユニットのデータ更新中にエラーが発生しました。	原因：本機のバージョンアップを実行中にエラーが発生した。 処置：バージョンアップをやり直してください。

その他のメッセージ

メッセージ	メッセージ詳細
通知先メールアドレスの設定状態を確認しています。	アクシデントインフォ、またはセキュリティインフォの設定を変更する際に表示されます。
MAユニットの連続録画を開始します。	ナビゲーション本体の[≡]ボタン、またはスマートコマンダー（専用リモコン）のカスタムダイレクトボタンで連続録画を開始することを知らせるメッセージです。
MAユニットのイベント録画を記録します。	ナビゲーション本体の[≡]ボタン、またはスマートコマンダー（専用リモコン）のカスタムダイレクトボタンでイベント録画を開始することを知らせるメッセージです。
MAユニットのイベント録画を記録しました。	イベント録画が行われたことを知らせるメッセージです。
アクシデントインフォ通知の送信を完了しました。	アクシデントインフォ通知が行われたことを知らせるメッセージです。
Bluetooth機器への転送を完了しました。	フォトシェアリング機能で静止画がiPhoneまたはスマートフォンに転送されたことを知らせるメッセージです。
MAユニットのプログラムを更新します。よろしいですか？	ナビゲーション本体のバージョンアップ後に、本機のバージョンアップデータがあることを知らせるメッセージです。本機をバージョンアップする場合は、 [はい] にタッチしてください。
MAユニットの更新が完了しました。	本機のバージョンアップが完了したことを知らせるメッセージです。
MAユニットの更新を再開します。	本機のバージョンアップが中断中に、その後バージョンアップを再開したことを知らせるメッセージです。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みください。大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標・著作権など

- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。



- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- 本機に使われているソフトウェアの利用許諾（ライセンス）については、ナビゲーション本体のライセンス表示画面をご確認ください。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なる場合があります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

仕様

● 共通部

使用電圧：DC14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：マイナスアース方式
最大消費電流：1 A
使用温度範囲：- 10 °C ~ + 60 °C

● カメラ部

出力映像：正像
撮像素子：カラー CMOSセンサー 1/2.7インチ
画素数：有効画素数 約 100万画素
レンズ：広角 焦点距離 $f = 2.93 \text{ mm}$ F値 2.0
画角：水平：約 110° 垂直：約 60°
IRカットフィルター（車載用特殊フィルター）：有り
アイリス方式：電子アイリス
走査方式：プログレッシブ
同期方式：内部同期
S/N：30 dB以上（推奨照度にて）
水平解像度：約 450TV本
照度範囲：約 2 lx ~ 100 000 lx
映像出力：LVDS (720 p)

● 動画/静止画

● 動画

映像フレームレート：約 30 fps
記録形式：AVI (H.264 + AAC)

● 静止画

記録形式：JPEG

● 外形寸法

カメラ部：26 mm (W) × 26 mm (H) × 41.7 mm (D)
カメラ部（カバー含む）：
44 mm (W) × 40 mm (H) × 44 mm (D)
本体部：177 mm (W) × 26 mm (H) × 128 mm (D)

● ケーブル長

映像：3 m
ナビ通信：3 m
電源：3 m
GND：3 m
カメラ：5 m

● 質量

本体部：約 412 g
本体部（ケーブル、取り付けキット含む）：約 750 g
カメラ部（カバー、ケーブル含む）：約 150 g

● 付属品

- 取付キット：
面ファスナー 2セット
モジュール固定用 1セット
- 取付キット：
USB延長ケーブル
ナビゲーション接続ケーブル
電源ケーブル
- 取扱説明書：1
- 別紙「はじめにお読みください」：1
- 保証書：1 (ND-MA1のみ)

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障がどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

【固定電話から】 **0120-944-111**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540(IP電話・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております。

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障がどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7550(IP電話・有料)

■ファックス **0120-5-81029**(無料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7551(IP電話・有料)

■ファックス **0120-5-81096**(無料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2017

< KMZZ17G > < CRA5172-A >

